

9 教育費

1 教育総務費 2 事務局費

[担当：学務給食課] P.361

2001 スクールバス運行に要する経費 14,361,840 円 (14,230,080 円)

[国・県 438,000 円 一財 13,923,840 円]

* 特財内訳

[国補：へき地児童生徒援助費等補助金 438,000 円]

○ 目的

遠距離通学となる児童・生徒の安全な通学手段を確保する。

○ 内容

- ・小文間地区スクールバス運行業務委託料 7,194,000 円
- ・小堀地区スクールバス運行業務委託料 7,167,840 円

○ 効果

対象児童・生徒に対して、登下校時の安全な通学手段が確保できた。

[担当：学務給食課] P.361

2201 通学送迎に要する経費 3,522,499 円 (3,353,062 円)

[一財 3,522,499 円]

○ 目的

遠距離通学となる児童の安全な通学手段を確保する。

○ 内容

- ・桜が丘小学校通学送迎委託料(大留地区) 853,740 円
- ・永山小学校通学送迎委託料(市之代・貝塚地区) 1,922,044 円

○ 効果

対象児童に対して、登下校時の安全な通学手段が確保できた。

[担当：学務給食課] P.361

2301 教育情報機器整備に要する経費 150,233,254 円 (120,289,601 円)

[一財 150,233,254 円]

○ 目的

高度情報化社会に対応した校務処理を行うために、教育情報ネットワークを構築し、教育委員会と小中学校の事務の効率化を図る。

○ 内容

小中学校において、児童生徒が ICT 機器を活用した授業及び教職員が校務事務を円滑に実施するために、教育委員会と学校が情報を共有する教育情報ネットワークを構築することで、事務の効率化と個人情報の保護を図った。

主な事業費内訳

- ・教職員用パソコン設定委託料 14,040,000 円
- ・ICT 活用教育支援スタッフ業務委託料 9,537,500 円
- ・教育センターシステムクラウド運用管理委託料 18,911,500 円

・教育センターシステムクラウド使用料	41,061,390 円
・教育・校務用パソコン使用料	7,750,080 円
・校務支援システム使用料	9,927,720 円
・教職員用パソコン使用料	24,932,880 円

○ 効果

教育情報ネットワークの活用により、教育委員会と小中学校の事務の効率化と個人情報保護が図られた。

[担当：指導課] P.363

3101 いじめ防止対策に要する経費 18,101,694 円 (11,032,649 円)

[一財 18,101,694 円]

○ 目的

いじめは常に起こり得るという現実を見つめ、いじめを早期に発見し、いじめの芽を摘むための意識改革と仕組みづくりに全力で取り組み、子どもたちが安心して生活し、健やかに成長できる環境を実現する。平成31年3月20日、県より取手市立中学校の生徒の自殺事案に係る調査結果をお示しいただいた。二度とこのような悲しい事案を起こすことのないよう、市教育委員会と全小中学校は一体となり、いじめの早い段階から迅速かつ適切に対応していく。

○ 内容

・いじめ問題専門委員会委員報酬	1,442,000 円
・スクールカウンセラー報酬	4,410,000 円
・スクールソーシャルワーカー報酬	1,152,000 円
・教育相談員報酬	2,448,000 円
・専門委員会報告書執筆料	1,792,019 円
・スクールカウンセラー・スーパーバイザー支援業務委託料	1,175,400 円
・命の授業講演会委託料	770,000 円
・いじめ防止アプリ使用料	755,700 円
・学校集団アセスメント用紙購入	1,681,650 円
・教育相談部会システム用備品	858,000 円

○ 効果

スクールカウンセラー・スーパーバイザーを配置し、市内各小中学校ならびに教育総合支援センターにおけるいじめへの対応ならびに教育相談のあり方についての調査・研究・検討を推進した。加えて、スクールカウンセラー・スーパーバイザーが講師となり、市内全教職員を対象とした一斉研修では、事案の振り返りとチームとしての取組について研修を行い、また、全中学校6校を訪問し(小学校は代表教員が参加)、子どもの発達過程を踏まえた支援のあり方についての研修を実施し、児童生徒理解を深めることができた。

また、いじめ問題専門委員会において、令和2年1月18日に取手市立中学校の生徒の自死事案に係る再発防止策の提言をとりまとめいただき、令和2年度より市内全小中学校で3つの重点施策、(1)全員担任制(小学校はチーム指導)、(2)教育相談部会システムの導入、(3)2学期制を導入することとした。

1 教育総務費 3 育英事業費

[担当：教育総務課] P.365

2101 奨学生貸付金 3,000,000 円 (4,400,000 円)

[その他 3,000,000 円]

* 特財内訳

[諸収入：奨学金貸付金元利収入 3,000,000 円]

○ 目的

経済的に修学が困難な大学生・短大生に奨学金を貸し付け、有為な人材を育成する。

○ 内容

貸付額 国公立大学:月額 30,000 円、私立大学:月額 40,000 円

貸付者数

種別	令和元年度 (内 新規貸付)	平成 30 年度 (内 新規貸付)	平成 29 年度 (内 新規貸付)
国公立大学	3 名	5 名 (1)	5 名 (2)
私立大学	4 名 (1)	6 名 (1)	6 名 (2)
合計	7 名 (1)	11 名 (2)	11 名 (4)

※平成 30 年度貸付の内、私立大学 1 名途中辞退(5 ヶ月分支給)

○ 効果

経済的負担の軽減を行い、有為な人材の育成に寄与することができた。

1 教育総務費 4 教育研究指導費

[担当：指導課] P.367

0501 教育振興に要する経費 79,039,853 円 (55,726,840 円)

[国・県 1,760,400 円 一財 77,279,453 円]

* 特財内訳

[県補：原子力・エネルギー教育支援事業補助金 1,760,400 円]

○ 目的

国際化、情報化、科学技術の飛躍的な発展の中で、変化の大きな社会に対応できる児童生徒の育成が必要である。基礎的・基本的な内容を確実に身につけ、自ら学び自ら考える力などの「生きる力」をはぐくむことができるよう、教育の充実を図る。そこで、英語指導助手との連携による授業、地域人材を活用した授業などの実践を行う。

○ 内容

・ 英語指導助手業務委託料 58,711,700 円

英語指導助手(ALT)14人(中学校6人・小学校8人配置)を民間専門業者に委託し、英語教育の充実に努めた。また、英語指導助手と児童生徒との交流により国際教育の充実を図った。

・ 小学校教師用教科書・指導書購入 16,395,197 円

令和2年度新学習指導要領実施に伴い教育課程の改訂が行われるため、研究用の教師用教科書・指導書を購入した。

・ 地域人材活用事業講師謝礼 612,000 円

・ 理科教育用教材購入 1,760,400 円

○ 効果

英語指導助手(ALT)の配置・活用により、新学習指導要領で教育課程に加わった小学校3・4年生の外国語活動、小学校5・6年生の外国語科において、小学校の段階から生きた外国語に触れる学習を展開することができた。中学校においても、1校に1名のALTを配置することにより、外国語科の時間はもとより、学校生活全体で国際教育の充実が図られた。

また、令和2年度から使用する小学校教科書・指導書を購入し、各校に配布することで、次年度に向けた授業・教材研究に役立てることができた。

[担当：指導課] P. 367

1001 特別支援教育に要する経費 6,109,992円(6,129,047円)

[国・県 486,000円 一財 5,623,992円]

* 特財内訳

[国補：地域生活支援事業補助金 324,000円]

[県補：地域生活支援事業補助金 162,000円]

○ 目的

特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒を支援し、保護者や教職員からの相談に応じるとともに、市内小中学校の特別支援教育の充実を図る。

○ 内容

(1) 特別支援教育相談員等の配置

幼児・児童・生徒の就学や適応に関する調査及び教職員や保護者に対する相談活動を行った。

・ 相談件数

区 分	R1 年度	H30 年度
未就学児に関して	90 件	90 件

(2) 教育支援委員会の実施

特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒の適切な就学のため、医師・特別支援教育担当者等で構成する委員会において就学についての協議・判定を実施した。

・ 判定人数

区 分	R1 年度(142 人)	H30 年度(160 人)
新学齢児	46 人	50 人
在学児童生徒	96 人	110 人

(3) 特別支援教育サポート事業の実施

地域における特別支援教育相談体制を充実させるとともに、小中学校等における特別支援教育校内体制の整備と活用に関する支援を行った。

教職員や保護者向けの相談活動「ほのぼの相談会」を実施し、相談記録ファイルや移行連絡シートなどを見直し、切れ目のない支援が行われるようにした。

・ 「ほのぼの相談会」相談件数

区 分	R1 年度(8 件)	H30 年度(13 件)
保 護 者	5 件	11 件
教 職 員	3 件	2 件

・講演会への参加者

区 分	R1 年度	H30 年度
研修会参加人数	112 人	127 人

- ・特別支援教育相談員報酬(3 人分) 3,672,000 円
- ・発達検査謝礼 888,000 円
- ・訪問相談謝礼 960,000 円

○ 効果

特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒の課題について早期に発見できたことにより、幼稚園・保育所と小中学校が連携して適切な支援を行うことができた。

また、市内小中学校における特別支援教育校内体制を充実させることができた。

[担当：指導課] P. 369

2301 教育総合支援センターに要する経費 24,197,172 円 (25,456,045 円)

[国・県 731,500 円 その他 210,000 円 一財 23,255,672 円]

* 特財内訳

[国補：地域生活支援事業補助金 330,000 円]

[県補：地域生活支援事業補助金 165,000 円]

[県委託金：スクールライフサポーター配置事業委託金 236,500 円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 210,000 円]

○ 目的

児童生徒及び保護者からの学校生活における相談に応じ、支援を行う。また、不登校児童生徒等に対応するために、児童生徒が在籍する小中学校や関係機関との連携のもと、適切な支援を行う。さらに、不登校児童生徒のための適応指導教室を教育総合支援センターに併設することにより、学習面、人間関係の面での指導支援を継続的に行い、早期の学校復帰を目指す。

○ 内容

教育相談員と指導主事が、適応指導教室や学校において、教科の指導、集団での活動支援、個別の相談業務や対応会議を行った。これらを通して、児童生徒が自立し、コミュニケーション力をつけ、学校生活に適応できるよう継続的に支援を行った。併せて、保護者との面談を行い、家庭との協力体制の強化を図った。

また、スクールライフサポーター配置事業が県から委託され、不登校・不適応傾向の児童を支援するため、取手小、取手東小にスクールライフサポーターを1名ずつ配置した。

- ・指導主事派遣負担金 9,500,749 円
- ・教育相談員報酬(7 人分) 8,568,000 円
- ・子どもと親の相談員謝礼(12 人分) 4,319,000 円
- ・スクールライフサポーター謝礼(2 人分) 230,500 円

○ 効果

教育総合支援センターにおける相談業務について、教育相談員や指導主事が専門的助言を行うことにより相談業務の充実が図られた。次に、不登校児童生徒のための適応指導教室「ひまわりルーム」では、教育相談員がきめ細かな指導及び支援を行い、令和元年度は小中学生計 20 人の通室者のうち、13 名が適応指導教室に通室しながら

小中学校に通学することが可能となった。

年 度	通室者数	復帰数	復帰率
R1	20 人	13 人	65.0%
H30	13 人	9 人	69.2%

子どもと親の相談員を全小中学校に配置し、児童・生徒及び保護者のための相談活動を充実させることができた。

また、年齢の近いスクールライフサポーターが、不登校・不適應傾向の児童の気持ちに寄り添って、学校生活を支援することができた。

[担当：指導課] P. 371

3901 移動学習バス委託事業に要する経費 2,226,960 円 (2,232,360 円)

[一財 2,226,960 円]

○ 目的

児童生徒が校外で直接見聞する体験学習を充実させるため、移動に必要なバスを運行して、校外での学習活動を支援する。

○ 内容

小学校 3・4 年生を中心に社会科見学に利用。

主な見学先：常総環境センター・市内公共施設・飲料工場等

・移動学習バス委託料 2,226,960 円

○ 効果

学習内容に関連する公共施設や工場等を直接訪れることにより、児童生徒の学習への関心・意欲を高めることができ、校外での学習の充実が図られた。

[担当：指導課] P. 371

4201 日本語指導員に要する経費 3,158,718 円 (1,743,501 円)

[一財 3,158,718 円]

○ 目的

日本語指導を必要とする帰国児童生徒及び外国人児童生徒への日本語の指導を通して、学校生活を援助する。

(1) 学校での日本語指導への協力

(2) 教科書・指導資料等の翻訳

(3) 学校での保護者への通訳等

○ 内容

・日本語指導員賃金 3,157,878 円

年度	指導員数	支援対象児童生徒の言語の内訳
R1	8 人	中国語 2 人 ポルトガル語 6 人 英語 3 人 韓国語 2 人 スペイン語 2 人
H30	5 人	中国語 1 人 ポルトガル語 4 人 英語 2 人 韓国語 3 人

○ 効果

日本語指導員が支援することにより、帰国児童生徒及び外国人児童生徒の学校生活への適応が図られた。

[担当：指導課] P. 371

4501 学力向上推進事業に要する経費 1,026,050 円 (3,141,567 円)

[国・県 922,700 円 一財 103,350 円]

* 特財内訳

[県委：学びの広場サポートプラン委託金 922,700 円]

○ 目的

児童生徒に基礎的・基本的な内容の習得を図り、確かな学力を育成する。

○ 内容

- ・ 学びの広場サポートプラン講師謝礼(算数) 777,000 円
(市立全小学校 4・5 年に学習支援員を各学級 1 人ずつ 5 日間配置)
- ・ 学びの広場サポートプラン講師謝礼(数学) 91,500 円
(希望した市立中学校 3 校の 1・2 年に学習支援員を各学級 1 人ずつ配置)
- ・ 理科特別授業講師謝礼等(小学校 13 回分) 156,000 円

○ 効果

小学校 4 年生以上及び中学 1・2 年生を対象に長期休業期間中等、特に算数・数学における基礎学力の習得を図ることで、児童生徒の学ぶ意欲の向上を図り確かな学力が育成された。

また、理科では、小学校に理科特別講師を派遣し、興味関心を高めるとともに小学校理科教育の一層の活性化及び充実を図った。

[担当：指導課] P. 371

4801 小中連携教育推進事業に要する経費 587,880 円 (577,790 円)

[一財 587,880 円]

○ 目的

9 年間を見通した一貫性のある学習指導、生徒指導を推進するとともに、小中学校間相互の乗り入れ授業や小中学校間、小学校間の児童生徒の交流活動等を通して、児童生徒の学力向上、学校生活へのよりよい適応を図ることを目的とする。

○ 内容

児童生徒の交流活動移動用バス代・楽器運搬費 587,880 円

○ 効果

児童生徒の交流活動に係る移動用バスの運行などの環境整備を行い、事業の取組を充実させることができた。

[担当：指導課] P. 371

5001 外部施設を活用した水泳学習推進事業に要する経費

19,850,788 円 (15,739,766 円)

[一財 19,850,788 円]

○ 目的

小学校及び中学校の水泳学習を外部施設の屋内プールを活用し、夏季以外でも水泳学習を行うことにより、計画的・効率的に学習を進め、水泳授業の充実を図る。

○ 内容

小学校は白山小・取手東小・宮和田小に藤代小を加えた 4 校で民間プールを活用した。

中学校は全6校で取手グリーンスポーツセンターを活用して、水泳学習を行った。児童生徒の移動は安全面を配慮して借上げバスを利用した。

- ・水泳学習業務委託(指導料・施設管理費等) 10,196,600円
- ・児童生徒移動に要する費用(運転業務・バス・自動車借上) 9,654,188円

○ 効果

公共及び民間の屋内プールの利点を生かし、天候に左右されず、年間を通して計画的・効率的に授業を実施することができた。

また、児童生徒の泳力に応じたきめ細かな指導が可能となった。

[担当：指導課] P. 371

5301 土曜日学習支援事業に要する経費 475,528円 (569,350円)

[国・県 296,000円 一財 179,528円]

* 特財内訳

[県補：地域の教育支援体制等構築事業費補助金 296,000円]

○ 目的

土曜日に、児童に学習の機会と場所を提供し、自ら進んで学習する習慣を身につけるとともに、学力向上を図る。

○ 内容

取手市内の小学校高学年を対象に、児童が持参した学校の課題や教材等で自主学習を行う場所を、福祉会館・永山小コミュニティスペース・藤代庁舎の3会場に設ける。学習を支援する人材として、退職教員や教員志望の学生、高校生ボランティアを活用する。

会場	福祉会館	永山小コミュニティスペース	藤代庁舎
児童数	12人	24人	14人
学習支援員数	3人	3人	3人
高校生ボランティア数	21人	18人	19人

- ・土曜日学習支援員謝礼 445,000円
- ・消耗品等 30,528円

○ 効果

自ら進んで学習する習慣が身につくとともに、日常では関わることの少ない、退職教員や教員志望の学生、高校生ボランティアと交流する貴重な場となった。

[担当：指導課] P. 373

5401 オリンピック・パラリンピック教育推進事業に要する経費

146,871円 (241,228円)

[国・県 146,871円]

* 特財内訳

[県委：オリンピック・パラリンピック教育推進事業委託金 146,871円]

○ 目的

オリンピック・パラリンピックムーブメントの普及・推進を図るとともに、スポーツ機運の醸成を図り、児童生徒が生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。

○ 内容

山王小学校において、ボッチャ体験会の開催や、オリンピックメダリストを招いて講演会・実技披露を行った。

・講師謝礼 100,000 円

○ 効果

パラスポーツの体験や、オリンピックメダリストから「夢を持ち続けること・あきらめない心・努力することの大切さ」を学ぶことにより、オリンピック・パラリンピックへの興味・関心が高められた。

1 教育総務費 5 青少年育成費

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 373

1001 青少年健全育成に要する経費 10,691,329 円 (10,866,640 円)

[国・県 48,110 円 その他 4,068 円 一財 10,639,151 円]

* 特財内訳

[県補：青少年相談員店舗訪問業務補助金 48,110 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 4,068 円]

○ 目的

青少年センターに配置した特別青少年相談員と各地区から委嘱した青少年相談員を中心に、青少年自身や保護者からの悩みごとや困りごとなどの相談を受けるとともに、学校や関係機関団体と協力して街頭指導を行い、問題行動の早期発見、早期解消を図り、青少年が安心して生活できる街づくりに努める。

また、青少年育成団体に助成を行うことにより、青少年の健全育成に関わる市民活動の活性化を図る。

○ 内容

・報酬 青少年相談員報酬 6,081,800 円(月額 9,400 円×53 人×12 か月)
(月額 9,400 円×1 人×11 か月)

特別青少年相談員報酬 2,712,000 円(月額 113,000 円×2 人×12 か月)

・負担金、補助及び交付金 5 団体 1,101,578 円

○ 効果

青少年健全育成の意識の高揚が図られ、青少年の心身の健全なる育成を推進することができた。

2 小学校費 1 学校管理費

[担当：学務給食課] P. 375

2001 小学校管理に要する経費 216,556,718 円 (225,039,152 円)

[その他 6,722,279 円 一財 209,834,439 円]

* 特財内訳

[使用料：学校開放小学校体育館使用料 1,647,130 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 5,000,000 円]

[諸収入：取手小太陽光発電による売電料 1,862 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 66,325 円]

[諸収入：工事に伴う市内小中学校光熱水費使用料 6,962 円]

○ 目的

教育環境の更なる充実を図ることで、児童の学習意欲を向上させ「確かな学力」へと繋げる。

○ 内容

- ・ 県の少人数指導加配措置を受けていない小学校 6 校(永山小、取手西小、山王小、六郷小、久賀小、桜が丘小)に TT(ティームティーチング)非常勤講師を配置し、課題別学習や多様な学習、個々に応じた学習を行い、児童の基礎力の定着を図った。(5,650,305 円)
- ・ 教育補助員を 14 校に配置し、障害のある児童の生活支援を行った。
(70,531,847 円)

○ 効果

TT 非常勤講師の配置により個々に応じた対応ができ、基本的な学力の定着が図られた。また、教育補助員を配置することで、障害のある児童の生活支援ができた。

2 小学校費 1 学校管理費

[担当：教育総務課] P.377

2101 小学校施設管理に要する経費 51,403,810 円 (51,157,252 円)

[その他 4,600,000 円 一財 46,803,810 円]

* 特財内訳

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 4,600,000 円]

○ 目的

適切な維持管理により、小学校施設を良好な状態に保つ。

○ 内容

主な経費

- ・ 修繕料 各小学校の施設修繕料 14,791,600 円
- ・ 委託料 各小学校の委託料 33,371,033 円
設備保守点検（機械警備、浄化槽、消防設備、電気設備、エレベーター保守点検委託等）、施設維持管理（草刈清掃、樹木消毒、剪定委託等）

○ 効果

適切な維持管理により、小学校施設を良好な状態に保つことができた。

[担当：学務給食課] P.379

2201 小学校保健衛生に要する経費 26,992,941 円 (27,151,300 円)

[その他 1,883,240 円 一財 25,109,701 円]

* 特財内訳

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金

@460 円×4,094 人=1,883,240 円]

○ 目的

学校保健安全法の規定に基づく健康診断の実施と学校環境衛生検査の実施等を中心とした活動を通して、児童及び教職員の健康の保持増進を図る。

○ 内容

- ・ 学校嘱託医師(24 名)、学校嘱託歯科医師(22 名)、学校薬剤師(14 名)、産業医(14

名)の報酬

- ・児童、教職員健康診断委託 委託先:(公社)取手市医師会

小学生

区分	腎臓検診	貧血検査	心臓検診	結核精密検査	小児生活習慣病
対象	全学年	4年	1年	精密検査対象者	4年
R1	4,607人	620人	880人	7人	620人
H30	4,704人	574人	816人	5人	574人

※腎臓検診の人数は二次検査者を含む。

※心臓検診の人数は心音図検査者と12誘導心電図検査者の合計。

職員

区分	腎臓検診	貧血検査	心臓検診	胃検診	胸部検診	生化学検査	血圧・身体・ 腹囲測定
R1	80人	80人	80人	8人	76人	80人	80人
H30	59人	59人	59人	8人	54人	59人	59人

- ・教職員の「心の健康チェック」(ストレスチェック)の実施
- ・学校環境衛生検査の実施(学校プール水質検査・教室等の環境検査・水道管理検査)
- ・学校保健用備品(聴力検査機器)購入

○ 効果

児童及び教職員の健康の保持増進が図られた。

2 小学校費 2 教育振興費

[担当:学務給食課] P.381

2101 小学校教育設備及び教材費に要する経費 26,856,083円(23,505,870円)

[国・県 681,000円 一財 26,175,083円]

* 特財内訳

[国補:理科教育設備整備費等補助金 681,000円]

○ 目的

教育設備及び教材を整備し、学習環境の充実を図る。

○ 内容

(単位:円)

区分	児童用教材	理科教材	図書	合計
R1	12,951,898	2,083,631	10,299,712	25,335,241
H30	13,066,270	1,855,383	7,171,000	22,092,653

○ 効果

各教科の指導を進めるうえで不可欠な教材教具及び図書、理科備品を整備することで、良好な教育環境を保つことができた。

[担当:学務給食課] P.383

2201 小学校コンピュータ整備に要する経費 45,556,681円(45,565,113円)

[一財 45,556,681円]

○ 目的

高度情報化社会に対応した学習活動を行うために、教育情報ネットワークを利用した教育環境の充実を図る。

○ 内容

小学校 14 校パソコン教室機器使用料 44,517,600 円

主にパソコン教室で児童 1 人 1 台の学習ができるタブレット型パソコンの使用料である。

○ 効果

パソコン教室だけでなく、普通教室や特別教室でもタブレット型パソコンとデジタル教材を活用した授業を行うことにより、より一層の教育の充実が図られた。

[担当：学務給食課] P. 383

2301 要保護・準要保護児童就学奨励費 44,402,483 円 (43,952,227 円)

[国・県 3,385,050 円 一財 41,017,433 円]

* 特財内訳

[国補：要保護児童就学援助費補助金 75,010 円×1/2≒36,000 円]

[国補：特別支援教育就学奨励費補助金 6,902,102 円×1/2 以内≒3,349,050 円]

○ 目的

学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難な小学校児童の保護者に対し、教育費の援助を行うことで、教育環境の向上に寄与する。

○ 内容

給食費、学用品費、入学準備金・新入学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費を援助した。

・要保護、準要保護及び被災児童就学援助者数(在校生)

区 分	要保護数	準要保護数	被災児童数	合 計
R1	44 人	517 人	0 人	561 人
H30	35 人	527 人	4 人	566 人

・入学準備金支給数

区 分	申請者数	支給者数
R1	107 人	83 人
H30	70 人	64 人

・特別支援教育就学奨励者数

区 分	在籍者数	該当者数
R1	314 人	207 人
H30	289 人	202 人

○ 効果

保護者に対し経済的援助を行うことにより、教育環境の向上に寄与することができた。

[担当：指導課] P. 383

2901 小学校特別活動助成に要する経費 2,540,024 円 (2,757,174 円)

[一財 2,540,024 円]

○ 目的

音楽発表・体育大会等を通して児童の活動への意欲を高める。

○ 内容

・音楽発表会送迎バス借上料・楽器運搬費	1,150,124円
・陸上記録会補助金	1,310,000円
・賞状印刷代	79,900円

○ 効果

市音楽会、体育大会等への参加により、児童の音楽・スポーツへの関心意欲が高まり、活動意欲の向上が図られた。

2 小学校費 3 学校建設費

[担当：教育総務課] P.385

2101 小学校施設整備に要する経費 508,836,789円 (78,074,660円)

〈491,572,678円〉 ※ 〈 〉 は、うち30年度繰越分

[国・県 69,478,000円 (69,478,000円) 地方債 420,600,000円 (420,600,000円)

その他 5,046,678円 (1,494,678円) 一財 13,712,111円]

* 特財内訳

[国補：ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金 (69,478,000円)]

[市債：合併特例債 (10,746,000円×95%≒10,200,000円)]

[市債：学校教育施設等整備事業債

(480,826,678円-69,478,000円)×100%≒409,900,000円]

[市債：減収補てん債 (500,000円)]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 3,552,000円]

[繰越金：前年度繰越金 (1,494,678円)]

○ 目的

児童等の熱中症対策及び快適な学習環境の整備を図るため、各小学校特別教室空調設備設置工事の実施設計及び工事を行う。

高井小普通教室のロッカーについて、児童数及び学級数の増加に伴い、必要数の確保及び児童が使用しやすい大きさへのロッカー改修を行う。

戸頭小受水槽揚水ポンプ1台が経年劣化により破損しているため、ポンプ交換工事を実施し、安定的な飲用水の供給を行う。

各学校施設の営繕工事を実施し、安全かつ快適な教育環境の充実を図る。

旧小文間小の高圧気中負荷開閉器の経年劣化が進行しているため、改修工事を実施し、周辺地域への波及事故予防を図る。

○ 内容

小学校施設整備消耗品	398,835円
小学校特別教室空調設備設置工事实施設計業務委託	10,746,000円
小学校教室ロッカー改修工事	1,252,800円
小学校給水設備改修工事	1,134,000円
施設管理営繕工事	13,191,476円
小学校受変電設備改修工事	1,287,000円
小学校空調設備設置工事	480,826,678円

○ 効果

各小学校特別教室空調設備設置工事の実施設計後に工事を行い、児童等の熱中症対

策及び学習意欲の向上を図った。

高井小普通教室のロッカー改修により、必要数の確保及び児童が利用しやすい大きさへ整備を行うことができた。

戸頭小受水槽揚水ポンプ交換工事により、2台相互運転が可能となり、安定的に飲用水を供給することができた。

各学校施設の営繕工事を実施し、安全かつ快適な教育環境の充実を図った。

旧小文間小の高圧気中負荷開閉器改修工事により、周辺地域への波及事故予防を図った。

[担当：教育総務課] P. 385

2217 小学校建設事業に要する経費（宮和田小学校） 20,680,000円

[地方債 20,600,000円 その他 80,000円]

* 特財内訳

[市債：合併特例債 20,680,000円×95%≒19,600,000円]

[市債：減収補てん債 1,000,000円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 80,000円]

○ 目的

老朽化の著しい宮和田小学校校舎並びに体育館の大規模改造工事(屋根、外壁、内装及びトイレ改修等)の実施設計を行い、令和2年度着工に向けて準備を進める。

○ 内容

校舎・体育館大規模改造工事实施設計業務委託料 20,680,000円

○ 効果

宮和田小学校校舎並びに体育館の大規模改造工事(屋根、外壁、内装及びトイレ改修等)の実施設計を行い、令和2年度に速やかに工事が実施できるよう準備を進めた。

2 小学校費 4 学校給食費

[担当：学務給食課] P. 387

2001 給食運営に要する経費 259,136,539円 (271,222,940円)

[その他 151,307,547円 一財 107,828,992円]

* 特財内訳

[諸収入：小学校給食代自校分 151,280,197円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 27,350円]

○ 目的

安全でおいしく、栄養バランスのとれた学校給食を提供する。

○ 内容

主な経費

(単位:円)

項目	内容	金額
小荷物専用昇降機保守点検委託料	小荷物専用昇降機保守点検(12校)	1,111,200
換気設備清掃委託料	給食室用換気設備の清掃(8校)	1,510,904
給食排水槽清掃委託料	給食室用排水槽の清掃(8校)	1,167,390
給食室病虫害防除委託料	給食室等の病虫害の防除(14校)	675,800

学校給食調理業務委託料	給食調理業務の民間委託(6校) (取手小、白山小、寺原小、永山小、 取手西小、戸頭小)	79,293,244
空調機保守点検委託料	給食室空調設備保守点検業務委託 (8校)	372,600

○ 効果

安全で栄養バランスに配慮した給食の提供ができた。

[担当：学務給食課] P.389

2101 給食施設整備に要する経費 7,372,759円(6,932,090円)

[その他 2,400,000円 一財 4,972,759円]

* 特財内訳

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 2,400,000円]

○ 目的

給食施設、設備の整備や修繕を行うことで、給食室内の衛生管理の充実を図る。

○ 内容

修繕料(施設修理や厨房機器等の修繕) 4,955,691円

備品購入費(取手東小牛乳保冷库、高井小ガス回転釜等) 2,417,068円

○ 効果

給食室内の衛生管理の充実を図ることができた。

3 中学校費 1 学校管理費

[担当：学務給食課] P.391

2001 中学校管理に要する経費 67,208,274円(70,178,806円)

[その他 4,715,980円 一財 62,492,294円]

* 特財内訳

[使用料：学校開放中学校体育館使用料 663,810円]

[使用料：学校開放中学校武道場使用料 95,550円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 3,600,000円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 26,204円]

[諸収入：工事に伴う市内小中学校光熱水費使用料 330,416円]

○ 目的

教育環境の更なる充実を図ることで、生徒の学習意欲を向上させ「確かな学力」へと繋げる。

○ 内容

教育補助員を2校(藤代中・藤代南中)に配置し、障害のある生徒の生活支援を行った

○ 効果

教育補助員を配置することで、障害のある生徒の生活支援ができた。

[担当：学務給食課] P.393

2201 中学校保健衛生に要する経費 13,689,090円(13,526,905円)

[その他 903,440円 一財 12,785,650円]

＊ 特財内訳

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @460 円×1,964 人=903,440 円]

○ 目的

学校保健安全法の規定に基づく健康診断の実施と学校環境衛生検査の実施等を中心とした活動を通して、生徒及び教職員の健康の保持増進を図る。

○ 内容

- ・学校嘱託医師(12名)、学校嘱託歯科医師(10名)、学校薬剤師(6名)、産業医(6名)の報酬
- ・生徒、教職員健康診断委託 委託先:(公社)取手市医師会

中学生

区分	腎臓検診	貧血検査	心臓検診	結核精密検査	小児生活習慣病
対象	全学年	2年	1年	精密検査対象者	2年
R1	2,337人	513人	919人	4人	513人
H30	2,367人	458人	940人	2人	458人

※腎臓検診の人数は二次検査者を含む。

※心臓検診の人数は心音図検査者と12誘導心電図検査者の合計。

職員

区分	腎臓検診	貧血検査	心臓検診	胃検診	胸部検診	生化学検査	血圧・身体・ 腹囲測定
R1	49人	49人	49人	10人	48人	49人	49人
H30	44人	44人	44人	6人	44人	44人	44人

- ・教職員の「心の健康チェック」(ストレスチェック)の実施
- ・学校環境衛生検査の実施(教室等の環境検査・水道管理検査)
- ・学校保健用備品(聴力検査機器)購入

○ 効果

生徒及び教職員の健康の保持増進が図られた。

3 中学校費 2 教育振興費

[担当：学務給食課] P.395

2101 中学校教育設備及び教材費に要する経費 16,438,408 円 (13,781,441 円)

[国・県 617,000 円 一財 15,821,408 円]

＊ 特財内訳

[国補：理科教育設備整備費等補助金 617,000 円]

○ 目的

教育設備及び教材を整備し、学習環境の充実を図る。

○ 内容

(単位:円)

区分	生徒用教材	理科教材	図書	合計
R1	6,164,667	1,499,985	6,706,070	14,370,722
H30	5,593,782	1,510,542	4,691,636	11,795,960

○ 効果

各教科の指導を進めるうえで不可欠な教材教具、図書及び理科備品を整備することにより、良好な教育環境を保つことができた。

[担当：学務給食課] P. 397

2201 中学校コンピュータ整備に要する経費 14,823,218 円 (13,331,874 円)

[一財 14,823,218 円]

○ 目的

高度情報化社会に対応した学習活動を行うために、教育情報ネットワークを利用した教育環境の充実を図る。

○ 内容

中学校 6 校パソコン教室機器使用料 14,319,504 円

主にパソコン教室で生徒 1 人 1 台の学習ができるタブレット型パソコンの使用料である。

○ 効果

パソコン教室だけでなく、普通教室や特別教室でもタブレット型パソコンとデジタル教材を活用した授業を行うことにより、より一層の教育の充実が図られた。

[担当：学務給食課] P. 397

2301 要保護・準要保護生徒就学奨励費 40,095,681 円 (36,211,716 円)

[国・県 1,645,950 円 一財 38,449,731 円]

* 特財内訳

[国補：要保護生徒就学奨励費補助金 190,900 円×1/2≒90,000 円]

[国補：特別支援教育就学奨励費補助金 3,180,218 円×1/2 以内≒1,555,950 円]

○ 目的

学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難な中学校生徒の保護者に対して、教育費の援助を行うことで、教育環境の向上に寄与する。

○ 内容

給食費、学用品費、入学準備金・新入学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費を援助した。

・要保護、準要保護及び被災生徒就学奨励者数

区 分	要保護数	準要保護数	被災生徒数	合 計
R1	19 人	307 人	0 人	326 人
H30	20 人	289 人	2 人	311 人

・入学準備金支給数

区 分	申請者数	支給者数
R1	78 人	78 人
H30	98 人	98 人

・特別支援教育就学奨励者数

区 分	在籍者数	該当者数
R1	89 人	58 人
H30	76 人	47 人

○ 効果

対象の保護者に対し経済的援助を行うことにより、教育環境の向上に寄与することができた。

[担当：指導課] P. 397

2901 中学校特別活動助成に要する経費 19,449,079 円 (18,443,147 円)

[一財 19,449,079 円]

○ 目的

音楽発表・体育大会(県南大会・県大会・関東大会・全国大会)等を通して生徒の活動意欲を高める。

○ 内容

・音楽コンクール参加負担金	665,000 円
・中学校体育連盟補助金(陸上競技大会等運営経費)	530,000 円
・市内体育大会補助金(陸上・総体・新人バス代半額補助)	3,419,574 円
・関東大会補助金	1,002,251 円
・全国大会補助金	932,154 円
・大会派遣用自動車借上料・楽器運搬費	12,812,234 円
・消耗品・賞状印刷代	81,116 円

○ 効果

市音楽会、音楽コンクール、体育大会等への参加により、生徒の音楽やスポーツへの関心・意欲が高まり、活動意欲の向上が図られた。

3 中学校費 3 学校建設費

[担当：教育総務課] P. 399

2001 中学校施設整備に要する経費 24,421,040 円 (131,331,560 円)

〈2,462,400 円〉 ※ 〈 〉 は、うち 30 年度繰越分

[国・県 989,000 円 (989,000 円) 地方債 8,000,000 円 (1,300,000 円)

その他 6,912,400 円 (173,400 円) 一財 8,519,640 円]

* 特財内訳

[国補：ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金 (989,000 円)]

[市債：合併特例債 6,787,000 円×95%≒6,400,000 円]

[市債：学校教育施設等整備事業債 (2,462,400 円-989,000 円)×100%≒
1,300,000 円)]

[市債：減収補てん債 300,000 円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 6,739,000 円]

[繰越金：前年度繰越金 (173,400 円)]

○ 目的

生徒等の熱中症対策及び快適な学習環境の充実を図るため、各中学校特別教室空調設備設置工事の実施設計を行い、令和 2 年度着工に向けて準備を進める。

各学校施設の営繕工事を実施し、安全かつ快適な教育環境の充実を図る。

取手一中及び取手二中の屋内消火栓設備の消火栓ポンプが経年劣化により異常をきたしているため、消火栓ポンプの改修工事を行う。

○ 内容

中学校施設整備消耗品	233,680 円
中学校特別教室空調設備設置工事实施設計業務委託	6,787,000 円
施設管理営繕工事	8,285,160 円

中学校消防設備改修工事	6,652,800円
中学校特別教室空調設備設置工事	2,462,400円

○ 効果

各中学校特別教室空調設備設置工事の実設計を行い、令和2年度に速やかに工事が実施できるよう準備を進めた。

各学校施設の営繕工事を実施し、安全かつ快適な教育環境の充実を図った。

取手一中及び取手二中の消火栓ポンプの改修工事を行い、生徒の安全な教育環境の充実を図った。

[担当：教育総務課] P.399

2107 中学校建設事業に要する経費（藤代南中学校） 788,700,000円（20,390,400円）
 〈788,700,000円〉

※〈〉は、うち30年度繰越分

[国・県 207,378,000円〈207,378,000円〉 地方債 579,800,000円〈579,800,000円〉

その他 1,522,000円〈1,522,000円〉]

* 特財内訳

[国補：学校施設環境改善交付金 〈197,891,000円〉]

[国補：ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金 〈9,487,000円〉]

[市債：学校教育施設等整備事業債 〈(788,700,000円－207,378,000円)×100%≒
 579,800,000円〉]

[繰越金：前年度繰越金 〈1,522,000円〉]

○ 目的

老朽化の著しい藤代南中校舎の大規模改造工事(屋根、外壁、内装及びトイレ改修等)及び体育館の大規模改造工事(外壁、内装及びトイレ改修工事等)を行い、安全かつ快適な教育環境の充実を図る。

○ 内容

校舎・体育館大規模改造工事監理業務委託料 15,950,000円

校舎・体育館大規模改造工事 772,750,000円

○ 効果

藤代南中校舎の大規模改造工事(屋根、外壁、内装及びトイレ改修等)及び体育館の大規模改造工事(外壁、内装及びトイレ改修工事等)を行い、安全かつ快適な教育環境の充実が図られた。

3 中学校費 4 学校給食費

[担当：学務給食課] P.399

2001 給食運営に要する経費 147,948,200円（151,490,232円）

[その他 82,249,937円 一財 65,698,263円]

* 特財内訳

[諸収入：中学校給食代自校分 82,240,938円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 8,999円]

○ 目的

安全でおいしく、栄養バランスのとれた学校給食を提供する。

○ 内容

主な経費

(単位:円)

項 目	内 容	金 額
小荷物専用昇降機保守点検委託料	小荷物専用昇降機保守点検(6校)	554,000
換気設備清掃委託料	給食室用換気設備の清掃(4校)	885,461
給食室病虫害防除委託料	給食室等の病虫害の防除(6校)	687,142
給食排水槽清掃委託料	給食室用排水槽の清掃(4校)	730,300
学校給食調理業務民間委託料	給食調理業務の民間委託(4校) (取手一中、取手二中、永山中、戸頭中)	51,808,200
空調機保守点検委託料	給食室空調設備保守点検業務委託(4校)	145,800

○ 効果

安全で栄養バランスに配慮した給食の提供ができた。

[担当：学務給食課] P.401

2101 給食施設整備に要する経費 4,152,392円(3,320,478円)

[その他 200,000円 一財 3,952,392円]

* 特財内訳

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 200,000円]

○ 目的

給食施設、設備の整備や修繕を行うことで、給食室内の衛生管理の充実を図る。

○ 内容

修繕料(施設修理や厨房機器等の修繕) 3,907,056円

備品購入費(検品用デジタル秤等) 245,336円

○ 効果

給食室内の衛生管理の充実を図ることができた。

4 幼稚園費 1 幼稚園管理費

[担当：学務給食課] P.403

2001 幼稚園管理に要する経費 13,059,141円(8,756,841円)

〈3,899,322円〉 ※ 〈 〉 は、うち30年度繰越分

[国・県 498,000円 〈498,000円〉 地方債 3,300,000円 〈3,300,000円〉

その他 838,676円 〈101,322円〉 一財 8,422,465円]

* 特財内訳

[国補：ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金 〈1,486,000円×1/3≒498,000円〉]

[市債：幼稚園空調設備整備事業債 〈3,899,322円-498,000円×100%≒3,300,000円〉]

[使用料：市立幼稚園保育料(保護者負担分) 627,300円]

[使用料：市立幼稚園預かり保育料 98,800円]

[繰越金：前年度繰越金 〈101,322円〉]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 11,254円]

○ 目的

市立幼稚園を運営することにより、幼児教育の振興を図る。

児童の安全かつ快適な教育環境の充実を図るため、市立幼稚園の教室に空調設備設置工事を行う。

○ 内容

市立幼稚園の入園、施設管理等の運営全般に要する経費である。

年 度	4 歳児	5 歳児	合 計
R1	16 人	12 人	28 人
H30	12 人	23 人	35 人

幼稚園空調設備設置工事 3,899,322 円

○ 効果

市立幼稚園の適切な管理と運営により、質の高い幼児教育を提供することができた。

市立幼稚園の教室に空調設備設置工事を行い、児童の安全かつ快適な教育環境の充実を図った。

[担当：学務給食課] P.405

2101 幼稚園保健衛生に要する経費 650,418 円 (655,251 円)

[その他 4,050 円 一財 646,368 円]

* 特財内訳

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @135 円×30 人=4,050 円]

○ 目的

学校保健安全法に基づく健康診断を実施し、園児の健康の保持増進を図る。

○ 内容

- ・園医(1名)、園歯科医(1名)、園薬剤師(1名)の報酬
- ・園児健康診断委託 委託先：(公社)取手市医師会

区分	腎臓検診
R1	28 人
H30	36 人

○ 効果

園児の健康の保持増進が図られた。

4 幼稚園費 2 幼稚園振興費

[担当：学務給食課] P.405

2001 幼稚園就園奨励費補助関係経費 11,076,400 円 (25,112,700 円)

[国・県 3,692,000 円 一財 7,384,400 円]

* 特財内訳

[国補：幼稚園就園奨励費補助金 11,076,400 円×1/3 以内≒3,692,000 円]

○ 目的

取手市幼稚園就園奨励費補助金交付要綱に基づき、園児の保護者に対し補助金を交付することにより、幼児の就園を奨励し幼児教育の振興を図る。

○ 内容

区 分	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
生活保護世帯	0人	0人	0人	0人	0人
市民税非課税世帯 (ひとり親世帯等除く)	0人	1人	2人	0人	3人
市民税非課税世帯 (ひとり親世帯等)	0人	0人	0人	1人	1人
市民税所得割非課税世帯 (ひとり親世帯等除く)	1人	0人	0人	1人	2人
市民税所得割非課税世帯 (ひとり親世帯等)	0人	0人	1人	1人	2人
所得割課税 77,100円以下 (ひとり親世帯等除く)	2人	6人	8人	7人	23人
所得割課税 77,100円以下 (ひとり親世帯等)	0人	0人	0人	0人	0人
所得割課税 211,200円以下	2人	24人	31人	31人	88人
上記区分以外の世帯	3人	7人	8人	8人	26人
合 計	8人	38人	50人	49人	145人

○ 効果

園児の保護者に対し補助金を交付することにより、幼児の就園奨励及び幼児教育の振興に寄与することができた。

[担当：学務給食課] P. 407

2002 幼稚園児保育料補助関係経費 2,472,224円 (5,941,536円)

[一財 2,472,224円]

○ 目的

幼児教育の振興を図るため、保護者に対して保育料の一部を補助し、幼児教育に係る経済的負担を軽減する。

○ 内容

対象者：取手市在住で私立幼稚園に在園する満3・3・4・5歳児の保護者

区 分	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
月額2,500円	8人	43人	57人	62人	170人

補助額 2,470,000円

○ 効果

保護者の保育料に対する経済的負担を軽減し、幼児教育の振興に寄与することができた。

[担当：学務給食課] P. 407

2101 幼児教育・保育の無償化に要する経費 26,985,438円

[国・県 17,075,892円 一財 9,909,546円]

* 特財内訳

[国負：子育てのための施設等利用給付費負担金 9,083,867円]

[国補：子ども・子育て支援交付金 174,000円]

[県負：子育てのための施設等利用給付費負担金 6,380,025 円]

[県補：子ども・子育て支援事業費補助金 1,261,000 円]

[県補：子ども・子育て支援交付金 177,000 円]

○ 目的

幼児教育無償化に伴い、市立幼稚園・新制度未移行園を利用する際の保育料や預かり保育料等の一部を補助することで、保護者の経済的負担の軽減を図る。

○ 内容

対象者：取手市在住で市立幼稚園・新制度未移行園に在園する満3・3・4・5歳児の保護者

補助内容	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	補助額
保育料	21人	45人	55人	63人	184人	24,284,650円
預かり保育料	0人	9人	13人	16人	38人	906,250円
副食費	4人	9人	13人	10人	36人	533,069円

○ 効果

市立幼稚園・新制度未移行園を利用する子どもの保護者の、保育料等に対する経済的負担の軽減を図れた。

5 社会教育費 1 社会教育総務費

[担当：スポーツ生涯学習課] P.411

2001 成人式に要する経費 1,813,000 円 (1,807,500 円)

[一財 1,813,000 円]

○ 目的

成人に達した若者の新たな門出を祝福し、今後の活躍を願い、成人式典を開催する。

○ 内容

令和元年度新成人の中から市内各公立中学校の推薦を受け、実行委員会を組織し、成人式の企画・運営を委託事業として実施した。

年 度	性別	対象者(人)	参加者(人)	出席率(%)
R1 (R2. 1. 12 実施)	男	559	384	68.69
	女	475	325	68.42
	計	1,034	709	68.57
H30 (H31. 1. 13 実施)	男	516	314	60.85
	女	491	317	64.56
	計	1,007	631	62.66

○ 効果

成人式実行委員会に式典の進行やアトラクション等の企画・運営を委託することで、熱心に意見交換を行い、工夫を凝らした式典が実施できた。さらに記念冊子の編集作業を担当してもらうことで、思い出に残る冊子を作成できた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P.411

2201 生涯学習推進に要する経費 3,403,559 円 (3,837,924 円)

[その他 699,600 円 一財 2,703,959 円]

* 特財内訳

[諸収入：市民大学講座受講料 699,600 円]

○ 目的

生涯学習に係る活動の場を提供することにより、市民の生涯学習への意欲を高めるとともに、各分野にわたる学習活動への参加を促進し、生涯学習の一層の振興を図ることを目的とする。

○ 内容

(1)生涯学習フェスティバル

生涯学習活動を実践している団体やサークルによる体験教室や活動発表などを通じて、幅広い世代間の交流と学びの場を提供するため、藤代スポーツセンターを会場にネットワークフェア 2019(来場者約 2,000 人)と同時開催で実施した。

実施コーナー	実施内容
取手生活学校	牛乳パックで作る小物の製作
ふじしろ野鳥と楽しむ会	野鳥写真の展示
藤代グランドゴルフクラブ	グランドゴルフの体験
取手市女性活動企画員会議	ギター伴奏に合わせての合唱体験

(2)出前講座

市民が「知りたい・聞きたい・学びたい」という内容を取りで学遊プラザリーダーバンク及び市職員が講師となって地域へ出向き講座を実施した。

派遣分野	令和元年度		平成 30 年度	
	件数	延べ受講者数	件数	延べ受講者数
リーダーバンク編・講座数	12	306 人	18	531 人
行政編・講座数	67	2,142 人	56	1,683 人
合計	79	2,448 人	74	2,214 人

(3)市民大学

・市民大学講座

市民が誰でも参加できる教養・専門講座「市民大学」を開講し、各分野の専門的な知識を持った講師を迎えて、中長期的な講座を開講した。(各講座全 5 回 ※は全 3 回)

講座名/講師名	開催期間	受講者数
続日本 100 名城の歩き方 城郭ライター・編集者 萩原 さちこ氏	6 月 11 日 (火) ～6 月 25 日 (火) ※	82 人
わかりやすい源氏物語IX 聖徳大学 OA 講師 赤塚 雅己氏	7 月 2 日 (火) ～8 月 27 日 (火)	79 人
「取手と芋銭ーカップの芋銭の魅力ー」 小川芋銭研究家 北島 健氏	8 月 21 日 (水) ～12 月 11 日 (水)	53 人
取手の歩み (その 2) 取手市埋蔵文化財センター職員	12 月 18 日 (水) ～2 月 5 日 (水)	73 人
世界遺産への旅 元東急観光グアム駐在所長 京免 宣昭氏 (4 回目, 5 回目は、コロナ禍により R2 年度に延期。)	1 月 17 日 (金) ～2 月 14 日 (金)	52 人

・東京大学 EMP 特別講座

東京大学エグゼクティブ・マネジメント・プログラム(東大 EMP)にご協力いただき、東京大学で知の最先端の研究を行っている教授陣による「未来を拓く先端知」と題された国内第一線の研究者による講座や各界の第一人者に講座、市民大学特別講座特別

講演会を行った。

講座名／講師名	開催期間	受講 決定者数
アメリカの政治と外交 トランプ政権成立の衝撃とその評価 東京大学法学部・大学院法学政治学研究科 教授 久保 文明氏	8月23日(金)	257人
日本を解き放つ—コトバ・カラダ・ココロの3点測量— 東京大学名誉教授 小林 康夫氏	11月12日(火)	312人
タンパク質 AIM が体のゴミ掃除で治らなかった病気を治す 東京大学大学院医学系研究科教授 宮崎 徹氏	11月25日(月)	300人
人工知能 AI の現在と近未来における人間と AI の共生 国立情報学研究所教授・国立大学法人総合研究大学院大学教 授・東京工業大学特定教授 山田 誠二氏	12月25日(水)	307人
重力波天文学と KAGRA 東京大学特別栄誉教授・卓越教授・東京大学宇宙線研究所長 ノーベル物理学賞受賞者 梶田 隆章氏	2月19日(水)	319人

・市民大学特別講座

講座名／講師名	開催期間	受講 決定者数
プログラミング体験講座 プラチナマイスター(プラチナ未来スクール)、大学生スタ ッフ、パソボラ取手	3月18日(水)	中止
プログラミング講座 プラチナマスター(プラチナ未来スクール)、大学生スタ ッフ、パソボラ取手	4月9日(火) ～2月25日(火)	8人

・特別講演会

講座名／講師名	開催期間	受講 決定者数
人生を楽しくする方程式 数学者・大道芸人 ピーター・フランクル氏	2月15日(土)	388人

(4)農業ふれあい体験事業

委託料 198,000円(取手市子ども地域活動促進事業実行委員会へ委託)

親子米づくり体験講座

市内全小学校の希望者を対象に、親子で田植え、稲刈りの体験学習を実施した。

事業名	実施日	場 所	参 加 者
親子米づくり体験講座	田植え 5/11(土)	農 業 ふれあい 公 園	田植え 186人
	稲刈り 9/ 8(日)		稲刈り 153人

(5)家庭教育学級

市立幼稚園・小中学校の親を対象に、家庭での教育力の向上及び親同士のコミュニケーションを図る場として、幼稚園・小中学校に家庭教育学級を設置し、社会教育指導員の指導により各学級単位の活動及び全体学習会を実施した。

22学級 延べ参加人数 3,657人

(6)地域づくり型生涯学習推進事業

市民が自ら積極的に社会に参画し、地域の課題解決に向けた活力ある地域づくりの

推進及び生涯学習による地域の活性化を図るため、取手市地域づくり型生涯学習推進委員会を5回開催し、生涯学習の自主講座の検討を行った。自主講座として、情報発信の講座、うたうっぺ音楽祭の研修会を実施した。

○ 効果

生涯学習フェスティバルでは、活動を実践している団体の体験教室において幅広い世代に対して、交流と学びの場を提供することができた。また、親子米づくり体験講座では、親子での自然体験の活動機会を提供し、学校外活動の充実を図ることができた。

出前講座では、行政に対する理解と市民の生涯学習意欲の向上に加え、市内の各種能力・知識等を持った人材の活用を推進できた。

市民大学講座では、各種講座の専門講師陣により市民に興味のあることについて専門的な知識を与えることができた。また、東京大学の中でも選抜されたEMP(エグゼクティブ・マネージメント・プログラム)の講師という各分野で活躍する最高水準の教授等を招き、特別講座を開催したことにより時代の最先端の知に触れる機会を提供することができた。

家庭教育学級では、「子育てと仲間づくり」をテーマに、親の学びの場として、子育てに関する情報提供や読み聞かせ、食育、子育て講話、健康づくり、研修視察等様々な学習会を開催し、家庭での教育力の向上を図った。

[担当：文化芸術課] P.413

2701 福祉会館改修事業に要する経費 248,710,000円(9,180,000円)

[地方債 248,700,000円 その他 10,000円]

* 特財内訳

[市債：合併特例債 248,710,000円×95%≒236,200,000円]

[市債：減収補てん債 12,500,000円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 10,000円]

○目的

福祉会館は開館から49年が経過し、空調機器の老朽化が著しく、ここ数年で空調機器が故障しており、レンタルエアコンにて対応している状況である。また、建物全体に水漏れ箇所があり、防水塗装の施工が必須である。施設の適切な運営管理を図るため、実施設計及び内外部改修をおこない利用者の安全安心な環境を整備する。

○ 内容

(1)委託料：5,060,000円

委託名	内容	期間	金額
福祉会館大規模改造工事監理業務委託	大規模改造工事監理業務委託	6/25～3/31	5,060,000円

(2)工事請負費：243,650,000円

工事名	内容	工期	金額
福祉会館空調設備改修工事	空調設備入替	5/24～2/28	97,350,000円
福祉会館大規模改造工事	・屋根防水・外壁改修 ・トイレ・階段・設備照明改修等	6/19～2/28	146,300,000円

○ 効果

施設の維持管理を適切に行うことによって、文化活動の拠点を市民に提供し文化芸術の振興に寄与した。

[担当：文化芸術課] P.413

2801 市民芸術活動の推進に要する経費 4,279,797円 (4,055,597円)

[その他 2,212,000円 一財 2,067,797円]

* 特財内訳

[諸収入：ハロウィンジャンボ宝くじ収益金市町村交付金 2,212,000円]

○ 目的

市民の文化活動及び芸術活動を支援するとともに、文化事業を推進し、市民文化の向上と発展に寄与する。

○ 内容

(1) 市主催事業の開催

事業名	開催日	内容	来場者数
第48回 取手市文化祭 (取手地区)	11/2, 3, 4 (3日間)	取手地区の文化祭を取手市文化連盟に委託。 伎芸発表と作品展を開催した。 会場：市民会館・福社会館 委託料：1,000,000円	5,996人
令和元年度 取手市藤代 文化祭 (藤代地区)	10/13～11/16 (1か月間)	藤代地区の文化祭を取手市藤代文化協会に委託。 作品展、体験型催事及び部門発表を開催した。 会場：藤代公民館 委託料：500,000円	1,771人
2019 取手美術 作家展	6/15～6/26 (12日間)	身近な郷土作家による作品展を取手美術作家展に委託して開催した。37名の作家が52点を出品。オープニングセレモニーではギャラリーコンサート等、また、一般向けギャラリーツアー、市内小中学生向けギャラリーツアー(4日間)を実施。(参加校9校、506名) 会場：取手ウェルネスプラザ 委託料：712,000円	2,500人
第50回 取手市民 美術展	11/24～3/1 (うち32日間)	小中学生、特別支援学級の部 1,203点 会場：福社会館 日本画、洋画、彫刻の部 83点 写真、書、工芸、デザインの部 84点 会場：とりでアートギャラリー 報償費・需用費・役務費：437,958円	6,887人
とりで スク ール・アート フェスティバ ル	1/18～1/25	取手市内にある全高等学校の芸術教育の作品発表会。美術品の展示、ギャラリートーク、松陽フレッシュコンサートや藤代高校吹奏楽部演奏会などを開催。 会場：取手ウェルネスプラザ、市民会館 委託料：300,000円	780人

(2) 市内の文化団体への補助金交付

団体名	補助金額	目的
取手市文化連盟	288,000 円	団体の運営補助
取手市藤代文化協会	410,000 円	団体の運営補助及び創立 50 周年記念事業補助
取手少年少女合唱団	80,000 円	団体の運営補助
国際音楽の日コンサート	200,000 円	団体の運営補助

○ 効果

各文化団体へ補助金を交付することにより、市民が行う文化活動の活性化に寄与した。また、各団体が行う事業は、内容を工夫することで来場者が増加した。

[担当：文化芸術課] P. 413

2901 市民会館・福祉会館管理運営に要する経費 89,101,168 円 (78,648,447 円)

[一財 89,101,168 円]

○ 目的

取手市の産業・経済・文化・教養の向上と市民の福祉増進及び住民生活の向上を図る。

○ 内容

(1) 需用費 (修繕料): 490,050 円

修繕名	内容	工期	金額
福祉会館 床張替修繕	講座室・会議室床張替修繕	3/12~3/27	199,100 円
市民会館 事務室天井給水管漏水工事	配管工事、天井張替、火災報知器交換等	1/29~1/31	242,000 円
福祉会館 エアコン制御基板交換	3 階講座室 AB エアコン制御盤交換 2 台分	10/31~11/1	48,950 円

(2) 委託料

平成 18 年度から市民会館・福祉会館の管理運営に指定管理者制度を導入している。

指定管理者: 公益財団法人取手市文化事業団

指定管理委託料: 88,566,000 円

年度	施設名	使用件数	入場者数	稼働率 (使用日数/使用可能日数)
R1	市民会館	190 件	59,476 人	58%
	福祉会館	6,262 件	137,070 人	100%
H30	市民会館	32 件	10,567 人	41%
	福祉会館	7,216 件	164,312 人	100%

※福祉会館は、令和元年度空調設備改修工事及び大規模改造工事期間中については休館せず制限を設けて開館。

○ 効果

施設の維持管理を適切に行うことによって、文化活動の拠点を市民に提供し文化芸術の振興に寄与した。

[担当：文化芸術課] P. 413

3001 東京芸術大学との交流に要する経費 7,001,422 円 (6,050,486 円)

[その他 2,151,000 円 一財 4,850,422 円]

* 特財内訳

[諸収入：ハロウィンジャンボ宝くじ収益金市町村交付金 2,151,000 円]

○ 目的

市内に東京芸術大学のキャンパスがあるという環境を活かし、市民と東京芸術大学との交流を深め、芸術的感性や知識を培い、文化・芸術の推進を図る。

○ 内容

(1) 東京芸術大学卒業・修了作品展における取手市長賞

市長賞賞賜金：2,000,000 円 (500,000 円×4 人)

第 68 回東京芸術大学卒業・修了作品展における優秀美術作品 2 点(日本画・工芸) および音楽分野では優秀者 2 名(作曲・声楽)に市長賞を授与した。美術分野の受賞作品はとりでアートギャラリーに展示した。

種類	作品名	作者
日本画	boundaries	伊藤 寛人
工芸(漆芸)	あなたのことがだいすき	小林 このみ
作曲		有吉 佑二郎
声楽		後藤 駿也

(2) 市内小中学校と東京芸術大学との文化交流

委託料：小学校(美術)指導 2,402,400 円

中学校(音楽)指導 1,647,360 円

東京芸術大学の学生等が、交流を希望した市立小中学校で美術又は音楽の指導を行った。

- ・美術：小学校の授業で児童に絵画技法等を指導した。(交流校 14 校)
- ・音楽：中学校の吹奏楽部活動で生徒に演奏技法を指導した。(交流校 6 校)

(3) 東京芸術大学音楽学部学生によるふれあいコンサート

出演者謝礼：160,000 円

開催日	会場	内容	出演者数	入場者数
7/27(土)	藤代公民館 講堂	金管五重奏	5 人	200 人
12/14(土)	取手ウェルネスプラザ	声楽・ピアノ	5 人	350 人

(4) 親子向け映像制作事業

委託料：390,000 円

東京芸術大学大学院映像研究科との共催で、粘土をコマ撮りして 5 秒程度のアニメーションを制作するワークショップを実施した。映像作品は、後日サイクルステーション取手で開催されたアートプロジェクションでも投影された。

夏休み期間である 8 月 10 日に開催し、21 組のグループが参加した。

○ 効果

東京芸術大学との文化交流は、近隣市町村にはない特色ある貴重な事業である。身近で質の高い芸術に触れられるため、市民、児童生徒及び学校関係者に大変好評であり、文化・芸術の振興及び技術の向上を図ることができた。

[担当：教育総務課] P. 415

3101 郷土資料収集・整理・保存に要する経費 6,357,503円(6,329,371円)

[その他 88,859円 一財 6,268,644円]

* 特財内訳

[諸収入：雇用保険料本人負担分 8,559円]

[諸収入：市史売却代 80,300円]

○ 目的

令和2年の市制施行50周年に向けて、取手市史・藤代町史編さんの成果に市制施行50年の歩みを加え、「多くの人が手に取って、読んで、内容を理解し、親しめる」取手市史追補版を編さんし、刊行する。

○ 内容

『取手市史』、『藤代町史』編さん後の調査で判明した史実について、収集した資料の整理を進めるとともに、原稿の執筆を行った。

【主な経費】

一般非常勤報酬 5,199,519円

- ・市史追補版編さん担当文化財調査員 1名(週5日、6.75時間勤務)
- ・市史追補版編さん担当資料整理非常勤職員 2名(週3日、5.5時間勤務)

○ 効果

郷土資料の収集・整理・保存を進めながら、『取手市史追補版』発刊に向け原稿の執筆が進んだ。

[担当：文化芸術課] P. 417

3301 アートのあるまちづくり推進に要する経費 31,918,678円(32,317,307円)

[国・県 3,755,000円 その他 14,297,288円 一財 13,866,390円]

* 特財内訳

[国補：文化芸術振興費補助金 3,755,000円]

[諸収入：取手アートプロジェクト貸付金元利収入 1,080,000円]

[諸収入：井野アーティストヴィレッジ利用料 4,977,288円]

[諸収入：ハロウィンジャンボ宝くじ収益金市町村交付金 3,240,000円]

[諸収入：地域の芸術環境づくり助成金 5,000,000円]

○ 目的

東京芸術大学のキャンパスが市内にあるという環境を活かして、東京芸術大学の知識、技術、手法などを活用した他市町村にはない、文化・芸術によるまちづくりの推進を図る。

(1)取手音楽の日「取手 JAZZ・DAYZ」

○ 内容

委託料：4,000,000円(公益財団法人取手市文化事業団)

市民会館及び福祉会館で東京芸術大学、アマチュアバンド、プロバンドの演奏を行った。

○ 効果

取手市内だけでなく市外近郊からたくさんの方が来場し優れた演奏を鑑賞することができた。(入場者数3,358人)

(2) 壁画によるまちづくり

○ 内容

委託料：4,440,400円(取手市壁画によるまちづくり実行委員会)

芸術が生活の中に自然に溶け込んだアートのあるまちづくりを目指し、平成17年度から「取手市壁画によるまちづくり実行委員会」を立ち上げ、東京芸術大学の協力を得ながら、「壁画」制作を中心としたプロジェクトを展開してきた。市民には大変好評であり、環境改善や防犯にも大きな役割を果たしてきた。今年度は、壁画制作は行わず管理修復を実施した。

○ 効果

「壁画」の維持管理・修復することにより、落書きや不法ビラ等をなくし、安全で快適な市民生活を実現し、芸術と市民生活が一体化した個性豊かな美しい街並みが形成された。

(3) 取手の芸術活動連携サポート

○ 内容

委託料：770,000円(NPO法人取手アートプロジェクトオフィス)

市で行われる芸術活動をまちの地域資源として捉え、芸術文化団体のアート活動を支援する事業や、市民がアートを身近に感じられるようになる事業を展開した。

- ①「知ったかアート大学」市民向けにアート初心者講座を開催。(35名参加)
- ②「とりでアートの日。」小中学生とその保護者を対象にしたワークショップを福祉交流センター他4会場で実施。(6講座 73名参加)
- ③「VIVA ラジオ」芸術家としていきていくためのスキルアップや活動支援を考慮するため、ラジオブースを模した空間でインタビュー形式でのアーティストニーズ調査を実施。

○ 効果

アーティストと市民のスキルアップ講座は、継続して行うことで参加者が増えた。講座から、気軽に参加できるワークショップまで幅広く事業展開することで、市民一人ひとりに芸術への意識の差があっても様々なニーズに応えることができた。

(4) 井野アーティストヴィレッジ

○ 内容

賃借料：5,806,836円

東京芸術大学と市が連携し、空き店舗となっていた井野団地ショッピングセンターにある一棟をUR都市再生機構より借り受け、東京芸術大学卒業生や若手芸術家のための「共同アトリエ」として一定期間賃貸提供する。

- ・UR都市再生機構から市が建物を借り、それを東京芸術大学が中心となって募集した若手芸術家にアトリエとして貸し出す。
- ・7戸のうち1戸は東京芸術大学が管理のため利用し、市が家賃を負担
- ・1戸につき2人以上、利用期間2年
- ・地域との交流及びオープンスタジオへの参加が条件
- ・賃借人数

スタジオ名	101(管理運営)	102	103	104	105	106	107
賃借人数	2人	4人	4人	4人	4人	4人	5人

○ 効果

25人のアーティストが各アトリエにおいて創作活動を行った。7月にオープンスタジオを開催し、ワークショップ、アーティスト青空市を行った。空き店舗を利用し地域の活性化を図り、芸術によるまちづくりの推進に寄与することができた。

(5) 取手アートプロジェクト

○ 内容

補助金：6,240,000円(取手アートプロジェクト実行委員会)

取手アートプロジェクト(TAP)は、平成11年度より市民・東京芸術大学・取手市の三者が連携協力して、地域の特色を活かした芸術活動を行なっているプロジェクトである。

令和元年度事業	取手市ならではの「共創型アート・センター」実現
開催期間	通年
事業内容	<p>①人的資源の有機的なネットワークを広げていく「創造拠点整備」として、若手芸術家、及び実験的な活動を試みる中堅芸術家をパートナーとし、今後の社会実践として価値ある表現を創造すること、またその表現が生まれるプロセスに市民や多様な立場の専門家や関心を持つ人たちと共創性を持つことを主眼に事業を実施した。</p> <p>②市民と芸術家をつなぐ中間支援の取り組みでは、地域で活動する芸術家と、当該地域で生活する人びととを双方向性をもってつなぐ事業を実施した。取手駅ビルの文化交流拠点「たいけん美じゅつ場VIVA」において、中間支援機能の実践を蓄積していきける形ができてきた。</p> <p>③教育普及と人材育成では、藝大食堂とその周辺空間を市内に立地する人的芸術文化資源と連携する文化芸術交流拠点と定め、世代・ルーツ・価値観の多様化を実現する事業を行った。</p>

・地域の芸術環境づくり助成金

補助金：5,000,000円(取手アートプロジェクト実行委員会)

公益財団法人自治総合センター「平成31年度コミュニティ助成事業(地域の芸術環境づくり助成事業)」の助成を受けた事業。「多様な人びとが芸術を耕す藝大ファーム&アーツ・センター創出プロジェクト」を実施。

・文化芸術振興費補助金

補助金：3,755,000円(取手アートプロジェクト実行委員会)

文化庁「平成31年度文化芸術振興費補助金(文化芸術創造拠点形成事業)」の助成を受けた事業。「創造郊外都市～共創型アート・センター実験室2019」の実施。

○ 効果

藝大食堂を中心に市内各所で様々な事業を実施したことにより、芸大生や地域で活動する芸術家の活動が間近で体験できる機会を市民が得られ、芸術に対し市民が主体的な関わりをスタートするきっかけになる仕組みづくりが行えた。

(6) JOABN アートライン協議会

○ 内容

負担金：400,000円

JR常磐線沿線の4つの区と4つの市(台東区・荒川区・足立区・葛飾区・松戸市・柏市・我孫子市・取手市)と、東京芸術大学、そしてJR東日本東京支社が「アート」をキー

ワードとして連携し、常磐線沿線のイメージアップや活性化を図る活動を通じて、沿線地域の「街」や「人」をつなげていく取り組みをしている。

令和元年度は、常磐線沿線の4区4市と東京芸術大学・JR東日本東京支社の各施設に設置されている謎解き問題の答え及びスタンプを集めると、各団体から集めたオリジナルグッズが先着でもらえる「JOBAN アートライン謎ときスタンプラリー」を実施。例年実施しているJR東日本の忘れ物傘を利用し親子で傘に絵を描いてもらいプレゼントするアートアンブレラも開催した。

○ 効果

例年参加者が増え、JOBAN アートライン協議会の活動が浸透してきており、沿線内外への情報発信力の強化と交流人口の拡大に繋がっている。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 417

3501 IT 基礎技術講習会に要する経費 2,493,062 円 (1,494,207 円)

[一財 2,493,062 円]

○ 目的

IT 講習会の内容充実と市民の情報収集・発信能力の向上に努める。

○ 内容

急速に進展する情報化社会に対応するため、パソコンボランティアを中心に公民館を利用して成人を対象に IT 講習会を実施した。

○ 効果

パソコンの基本操作やワード、エクセルの入門講座に加えて、デジカメ入門や動画作成等の幅広いニーズに対応した講習会を実施し、多くの受講生の技術向上に寄与した。

[担当：文化芸術課] P. 417

3701 アートギャラリーの管理運営に要する経費 14,692,694 円 (6,636,057 円)

[地方債 3,600,000 円 その他 4,718,750 円 一財 6,373,944 円]

* 特財内訳

[市債：アートギャラリー整備事業債 3,609,100 円×75%≒2,700,000 円]

[市債：減収補てん債 900,000 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 4,589,000 円]

[使用料：アートギャラリー使用料 42,000 円]

[使用料：市民ギャラリー使用料 87,750 円]

○ 目的

郷土作家、市民及び行政が一体となり創り上げたギャラリーにおいて、芸術作品の発表の場として、さらには文化・芸術交流の場として幅広い活動を展開する。

○ 内容

(1) 市主催事業の開催

事業名	開催日	会場	内容	入場者数
にこにこ元気なとりでっ子!作品展	8/9～ 8/21	取手ウェルネスプラザ	市内公立、私立保育所(園)・認定こども園・幼稚園 20 カ所に通う 4 歳児、5 歳児の絵画と立体工作物を合同で展示。併せて 4 カ所の地域子育て支援センターの取り組みを紹介した。	2,304 人
とりで美術の今特別展	12/21～ 1/12	とりでアートギャラリー	とりでアートギャラリーオープン記念として取手美術作家展会員を中心に、地元作家 49 人、49 点の優れた作品を展示。新春コンサートも併せて実施。	5,434 人
小中学生児童生徒作品展	1/30～ 2/16	とりでアートギャラリー	市内小中学生による絵画、書写、科学研究・発明工夫、統計グラフ(県展入選作品を含む)の優秀作品展。	4,153 人

(2) アートギャラリー貸出実績

令和元年度は、令和 2 年 4 月以降の予約受付を行った。

(3) アートギャラリー施設に関する経費

- ・アートギャラリー消耗品：2,055,314 円

とりでアートギャラリーオープンに伴い、ワイヤー、フック、パーテーションスタンド等を購入した。

- ・施設賃借料：2,707,720 円

とりでアートギャラリーのオープン後からの賃借料(12/21～3/31)

- ・アートギャラリー備品：6,290,790 円

とりでアートギャラリーオープンに伴い、展示用パネル、ワイヤー収納ワゴン、マルチ運搬車、展示用テーブル、椅子、棚等を購入した。

(4) 市民ギャラリーの管理

市民の発表の場として、取手駅東西連絡通路及び藤代駅橋上自由通路にある市民ギャラリーの貸し出しを行った。

- ・市民ギャラリーガラス修繕料：950,400 円
- ・市民ギャラリー備品スポットライト購入：199,800 円

(5) 利用件数

ギャラリー名	令和元年度	平成 30 年度
取手駅市民ギャラリー	54 件	54 件
藤代駅市民ギャラリー	25 件	32 件

○ 効果

郷土作家や市民による作品等の発表及び鑑賞並びに文化交流の場を市民に提供し、文化・芸術の振興に寄与した。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 419

3801 放課後児童対策事業に要する経費 112,714,199 円 (118,271,350 円)

[国・県 42,159,000 円 地方債 2,700,000 円 その他 40,283,464 円

一財 27,571,735 円]

＊ 特財内訳

[国補：子ども・子育て支援交付金 57,096,000 円×1/3=19,032,000 円]

[県補：子ども・子育て支援交付金 52,854,000 円×1/3=17,618,000 円]

[県補：放課後児童対策事業補助金 8,264,000 円×2/3≒ 5,509,000 円]

[市債：放課後子どもクラブ室整備事業債 2,737,000 円×75%≒ 2,000,000 円]

[市債：減収補てん債 700,000 円]

[負担金：放課後児童対策事業保護者負担金 39,922,750 円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 36,000 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 84,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 240,714 円]

○ 目的

市立小学校に通う全児童を対象とし、学校施設等を利用して、遊びや体験学習などで自主的に過ごせる場所を設け、子どもの健全育成を図る。

○ 内容

放課後子ども教室事業と放課後児童クラブ事業を一体的に、平成 20 年度から「放課後子どもクラブ」として全市立小学校で開設している。

放課後や夏休み等の長期休業中に、小学校 1 年生から小学校 6 年生までを対象に、安全で安心な子どもの活動拠点を小学校に設け、地域ボランティアによる昔遊びや絵本の読み聞かせを行った。また、TAP や大学教授の講師による工作教室、おもしろ理科実験教室、などの体験活動を行った。

放課後子どもクラブ登録児童数(通常利用登録者)

令和 2 年 3 月 31 日現在(単位:人)

小学校名	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	合 計
取手小	43	47	44	36	23	13	206
白山小	48	37	34	32	15	2	168
取手東小	45	41	55	45	41	20	247
寺原小	33	43	27	31	26	18	178
永山小	38	36	27	38	18	6	163
取手西小	25	29	36	21	18	4	133
戸頭小	48	47	52	29	19	10	205
高井小	60	35	30	20	3	2	150
山王小	4	11	2	10	2	3	32
六郷小	14	9	14	5	10	12	64
藤代小	42	49	42	33	11	12	189
宮和田小	44	26	39	28	4	9	150
久賀小	28	22	23	18	11	6	108
桜が丘小	35	27	20	18	5	3	108
合 計	507	459	445	364	206	120	2,101

○ 効果

放課後児童の健全育成のために貢献することができた。また、全学年・全児童を対象としたことで異学年間の交流も図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 421

4301 訪問型家庭教育支援事業に要する経費 506,472 円 (318,538 円)

[国・県 310,000 円 一財 196,472 円]

* 特財内訳

[県補：地域で支える家庭の教育力向上事業費補助金

506,472 円×2/3×92%≒310,000 円]

○ 目的

訪問型家庭教育支援事業は、地域の子どもは地域社会全体で育てるという考え方に立ち、地域の人材を活用した家庭教育支援チームが家庭に支援を届け、保護者への支援を通じて子どもの育ちを支えてゆくことを目的とする。

○ 内容

(1) 支援方法 訪問型家庭教育支援チームによる家庭訪問

(2) 訪問対象 市校長会から推薦いただいた小学校 4 校(取手小、白山小、六郷小、藤代小)の小学 1 年生児童を持つ保護者(208 名)と昨年度事業実施 2 校(久賀小、桜が丘小)の小学 2 年生児童を持つ家庭の保護者(90 名)と市内市立小学校への転入生(67 名)

(3) 実施内容 ・保護者からの相談への対応
・保護者に対する情報提供

(4) 実施状況

(市校長会推薦分)

学校名	対象人数	延べ訪問日数	面談者数	面談割合	訪問票
取手小学校(小1)	68 名	174 回	60 名	88.2%	8 名
白山小学校(小1)	66 名	153 回	55 名	83.3%	11 名
藤代小学校(小1)	58 名	154 回	51 名	87.9%	7 名
六郷小学校(小1)	16 名	28 回	14 名	87.5%	2 名
合 計	208 名	509 回	180 名	86.5%	28 名

※1 訪問票は、3 回以上訪問して不在の家庭にのみ、配付。

(訪問希望のアンケート調査実施分 ※2)

学校名	対象人数	備 考
久賀小学校(小2)	43 名	対象者へのアンケート調査の結果、訪問希望者なし
桜が丘小学校(小2)	47 名	対象者へのアンケート調査の結果、訪問希望者なし
転入生	67 名	対象者へのアンケート調査の結果、訪問希望者 1 名
合 計	157 名	

※2 平成 30 年度調査対象とした久賀小学校、桜が丘小学校の小学 1 年生(現在小学 2 年生)及び転入生(市内市立小学校 14 校)へは、訪問希望確認のアンケートを送付し、訪問希望者に面談を実施。

○ 効果

家庭に支援を届け、保護者への支援を通じて子どもの育ちを支えてゆくことができた。また、保護者から相談いただいた案件について支援員による相談業務を行うことで、保護者の悩みや不安の解決のきっかけを提供できた。

[担当：文化芸術課] P. 421

4601 アートギャラリー整備事業に要する経費 60,489,000 円

[地方債 60,400,000 円 その他 89,000 円]

* 特財内訳

[市債：アートギャラリー整備事業債 60,489,000 円×75%≒45,300,000 円]

[市債：減収補てん債 15,100,000 円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 89,000 円]

○ 目的

とりでアートギャラリーきらりが入居していた民間ビルが取手駅北土地区画整理事業の進捗により、建物移転となり平成 30 年度末をもって閉鎖したことから、取手駅前に新たにアートギャラリースペースを整備する。

○ 内容

駅ビル 4 階たいけん美じゅつ場 VIVA 内にとりでアートギャラリーを整備する。

○ 効果

令和元年 12 月にとりでアートギャラリーをオープンし、より身近でより気軽に芸術に触れられる場を提供することができた。

5 社会教育費 2 公民館費

[担当：公民館] P. 423

0501 公民館事務に要する経費 44,348,737 円 (44,367,100 円)

[その他 9,450,606 円 一財 34,898,131 円]

* 特財内訳

[使用料：公民館使用料 8,857,156 円]

[手数料：コピー手数料 199,470 円]

[諸収入：印刷機使用料 143,420 円]

[諸収入：電話通話料 560 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 250,000 円]

○ 目的

地域に即した特色ある公民館の運営と維持管理を行い、市民の文化教養の向上、利用環境の充実に寄与する。

○ 内容

市内の公民館施設の適切な維持管理を行う。主な経費は公民館の需用費、委託料である。

・ 光熱水費 16,485,166 円(各公民館施設の光熱水費)

・ 委託料 19,160,424 円

(各公民館施設の清掃管理委託、夜間管理委託消防設備保守点検委託、冷暖房機保守点検委託他)

○ 効果

公民館の維持管理を適切に行い、利用環境の充実と利用者の利便性を図った。

[担当：公民館] P. 425

2101 公民館活動に要する経費 1,511,836 円 (1,664,071 円)

[一財 1,511,836 円]

○ 目的

市内には、学習活動や地域づくりの中心的役割を担う公民館が 14 館あり、地域に即した生涯学習施設として活用されている。それぞれの地域ニーズに合わせた魅力ある事業を展開し、地域の生涯学習の拠点として、より一層の充実を図る。

○ 内容

市内各地域の公民館において、幅広い年齢層を対象とした講座や講演会等を開催することで地域の人たちが身近に参加でき、学べる機会を提供する。

・報償費 1,050,858 円(各公民館講師謝礼等)

対象	事業名	期 間	回数	受講者数(人)	事業内容及び結果
青少年	戸頭こどもまつり	7 月	1	404	レクリエーションを通じて地域の子どもの交流を図った。
	サマースクール	8 月(4 館)	4	104	小学生を対象にしたパン・ピザづくり、工作教室やチアダンス体験教室を実施した。
	ハロウィン工作	10 月	1	20	小学生を対象にしたハロウィン工作を実施。戸頭子どもふれあい広場と共催。
	クリスマスケーキ作り教室	11・12 月	2	59	クリスマスケーキ作りを楽しく学ぶ。戸頭子どもふれあい広場と共催。
	しめ飾りづくり(小学生)	12 月	1	20	山王小 5 年、6 年生対象のしめ飾りづくり講座を実施した。
	新春子どもの集い	1 月	1	142	餅つき大会、どんど焼きを行い、伝統行事や習慣を伝えた。
	クリスマス人形劇	12 月	1	200	劇団どんぐりによるクリスマス公演を開催した。
	折り紙体験講座	1 月	1	15	折り紙体験講座を実施した。
	英語で遊ぼう講座	2 月	1	16	六郷小児童及び保護者を対象とした英会話講座を実施した。
	昔遊 び	2 月	1	31	小学生を対象とした昔遊び体験を実施。戸頭子どもふれあい広場と共催。
移動博物館	7 月 19 日 ～29 日	11	669	取手市内小学生以上を対象に、移動博物館を実施した。	
女性	女性学級	年間	各学級 10～11	1 学級 16 人～35 人 8 学級(179 人)	出合いを大切に視野を広げ、楽しく学習しながら心豊かな人間性を高めた。
高齢者	高齢者学級	年間	各学級 10～12	1 学級 13 人～88 人 3 学級(128 人)	敬愛される高齢者を目指して、健康・趣味・奉仕活動等を積極的に行い、物の見方や考え方、生きがいを見い出した。
	藤代学園	4 月～3 月	11	1 学級 173 人	学習、趣味活動を通じて、社会情勢への円滑な適応を図った。

成人	着付け教室	7・11月	3	9	ゆかたや正月の着物の着付けを学ぶ教室を開催。
	ふるさと講座	10～12月	3	99	郷土に関する歴史の学習を通し、郷土愛と交流を深めた。
	フラワーハーバリウム作り講座	12月	1	17	瓶の中にミネラルオイルと花を詰めたアレンジメントを作成した。
	健康教室	10～2月	4	90	高齢者の健康づくりと運動をテーマに講座を実施した。
	初心者のそば打ち体験講座	11月	1	15	自分でそばを打つ楽しさと秋の味覚を楽しんだ。
	しめ飾り作り講座	12月(2館)	2	43	伝統的な「しめ飾り」を手作り体験した。
一般	運動会	5・10月	3	1,030	六郷、山王で小学校と合同開催。相馬は地域で開催。
	地域交流会	6月	1	46	地域親睦と健康増進を目的に、ハイキング(ウォーキング)を開催し、地域の交流を深めた。
	鉢花・盆栽等展示会	6月	2	31	地域住民による鉢花・盆栽等の展示で地域の親睦を深めた。
	球技大会(ソフト)	6月	1	55	相馬地区のスポーツの振興と地域親善を目指し、互いに交流を深めた。
	ペタンク大会	5・9月	2	112	スポーツ(ペタンク)を通じて、各世代間の交流を図った。
	夏まつり	8月	4	1,514	夏の風物詩の盆踊り、模擬店等で、地域の親睦を深めた。
	寺原地区親善ソフトボール大会	10月	1	60	寺原・本郷・駒場地区4チームにより地域住民の親睦と健康増進を目的にソフトボール大会を開催した。
	永山・戸頭地域親善ゲートボール大会	10月	1	32	永山・戸頭地域のゲートボール愛好者の親善と健康増進と技術の向上を目的に大会を開催した。
	お父さんのつどい お母さんのつどい	11月	1	38	高須地区のお父さん、お母さんの研修視察を行い、交流を図った。
	子どものつどい	11月	1	140	家族や仲間と一緒に地図を片手に歩くウォークラリーを開催。
	クリスマスコンサート	12月	1	150	市民参加型のクリスマスコンサートを開催した。
	公民館まつり	2月～3月	5	1,890	作品展示や催しもの等、公民館で活動する団体による発表と地域交流の場を提供した。7公民館については、新型コロナウイルス感染予防のため中止。

・各公民館利用状況

公民館名	年度	利用件数(件)	延べ利用者数(人)
中央公民館	R1	福祉会館との複合施設のため独自の算出はなし	
	H30		

小 文 間 公 民 館	R 1	1, 212	9, 544
	H30	1, 292	10, 517
永 山 公 民 館	R 1	2, 617	36, 061
	H30	2, 793	39, 759
寺 原 公 民 館	R 1	2, 184	29, 404
	H30	2, 338	35, 230
井 野 公 民 館	R 1	4, 089	68, 666
	H30	4, 119	77, 546
戸 頭 公 民 館	R 1	4, 058	71, 404
	H30	4, 399	73, 937
白 山 公 民 館	R 1	2, 783	48, 161
	H30	2, 632	47, 760
藤 代 公 民 館	R 1	2, 747	41, 990
	H30	2, 784	42, 758
山 王 公 民 館	R 1	878	6, 815
	H30	882	8, 416
六 郷 公 民 館	R 1	957	12, 856
	H30	952	13, 809
相 馬 公 民 館	R 1	1, 101	11, 781
	H30	1, 145	13, 383
相 馬 南 公 民 館	R 1	1, 634	18, 130
	H30	1, 689	20, 534
高 須 公 民 館	R 1	412	4, 735
	H30	355	3, 987
久 賀 公 民 館	R 1	795	8, 438
	H30	823	8, 889
計	R 1	25, 467	367, 985
	H30	26, 203	396, 525

○ 効果

地域の特色を生かした、学級講座等の事業を開催し、内容の充実を図ったことで、まちづくりや人づくりを推進することができた。

[担当：公民館] P. 425

2301 公民館施設整備に要する経費 58,571,360円(13,415,046円)

[地方債 52,200,000円 その他 4,250,000円 一財 2,121,360円]

* 特財内訳

[市債：合併特例債 52,250,000円×95%≒49,600,000円]

[市債：減収補てん債 2,600,000円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 4,250,000円]

○ 目的

公民館施設の適切な整備及び工事を行い、市民の利用環境を整える。

○ 内容

市内公民館施設の破損箇所や異常箇所の修繕及び工事を実施し、施設整備を行う。

・修繕料 6,222,195円(各公民館施設の修繕)

- ・工事請負費 52,250,000 円
井野公民館改修工事 52,250,000 円

○ 効果

井野公民館の老朽化対策として、多目的ホール空調設備の改修、屋根及び外壁の改修工事を行い、施設の充実と利用環境整備を図った。

5 社会教育費 3 図書館費

[担当：図書館] P.427

2001 図書館管理運営に要する経費 25,955,366 円 (54,741,159 円)

[地方債 1,000,000 円 その他 2,326,000 円 一財 22,629,366 円]

* 特財内訳

[市債：合併特例債 1,026,000 円×95%≒900,000 円]

[市債：減収補てん債 100,000 円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 2,326,000 円]

○ 目的

利用者に安全で快適な環境を提供するため、適切に施設の維持管理を図る。

○ 内容

修繕等が必要な箇所について、所要の修繕や改修を行った。特に取手図書館の空調設備改修工事は令和元年夏から空調機の不調が続いたため、令和2年3月から臨時休館とし改修工事を行った。

事業名	内容	金額(単位:円)
取手図書館空調設備改修工事实 施設設計業務委託	空調機老朽化による撤去処分及 び新設 本工事は R2. 1. 25～R2. 5. 29	1,026,000
取手図書館2階男子トイレ小便 器修繕	男子トイレ小便器2カ所の配水 管更新・自動洗浄化	471,960
取手図書館1階空調室内機エラ ー修繕	1階一般開架系室内機用制御基 盤取替	140,400
取手図書館玄関入口散水栓修理	散水栓蛇口の交換	10,260
ふじしろ図書館2階女子トイレ 照明不具合修理	照明器具の破損による交換	5,400
ふじしろ図書館自動火災報知設 備バッテリー交換	事務室火災報知器	45,360
ふじしろ図書館エレベーター修 繕	エレベーター 2基 ワイヤロー ープ交換	1,231,200
ふじしろ図書館防火スクリーン 修繕	防火スクリーン交換・点検口取付	356,400
ふじしろ図書館空調機修繕	1・2階書架系統空調機	507,600
ふじしろ図書館車止めポール交 換	車止めポール交換 3基	220,000
ふじしろ図書館空調機 PAC-4 修 繕	集会室系統空調機 PAC-3	167,200

ふじしろ図書館空調機 PAC-3 修繕	2階児童開架フロア系統空調機 PAC-4	105,600
---------------------	----------------------	---------

○ 効果

利用者に安全で快適な環境を提供するため、修繕等については緊急性や効果を考慮しながら実施し、諸設備の機能回復及び保全に努めた。

[担当：図書館] P. 429

2101 図書館活動に要する経費 88,717,087円 (86,582,280円)

[その他 547,689円 一財 88,169,398円]

* 特財内訳

[手数料：コピー手数料 90,390円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 413,000円]

[諸収入：電話通話料 30円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 43,169円]

[諸収入：印刷機使用料 1,100円]

○ 目的

市民の多様化するニーズに対応する読書環境の整備及び図書館事業の充実並びに効果的な図書館資料の提供に努める。

○ 内容

(1) 主な事業

- ・ 学校図書館－市立図書館連携事業(ほんくる)の運用
 本の魅力を発信する図書館Webサービス並びに学校図書館と市立図書館とのシステム連携及び図書配送サービスの運用。
 図書館システム賃借料(4～3月) 37,363,680円
 図書配送業務委託料 7,001,724円
- ・ 学校との連携 学校図書館への支援
 学校司書研修会(2回)
 蔵書点検の指導・実施
 図書館システム活用・運用についての指導(随時)
 学校訪問おはなし会(市内小学校全校 3学年及び希望学年 1,096人)
 放課後子どもクラブ訪問おはなし会(6回 参加者 305人)
 家庭教育学級への講師派遣(17回 参加者 252人)
- ・ うちどく(家読)
 「スマートウェルネスとりでの推進事業」のうち地域・家族の絆づくりの事業として家庭での読書の普及啓発を図った。
- ・ 子育て支援
 ブックスタート事業(22回 524冊配付)
 乳幼児・児童向け読み聞かせ(164回開催 参加者 2,108人)
 地域子育て支援センター訪問(11回 参加者 295人)
 こども発達センターおはなし会(3回開催 参加者 100人)
 子育て支援センター(4カ所)へ配本セットを巡回開始
 おすすめ絵本紹介として、「よもつと」を偶数月に発行・配信(10月から)

- ・図書館だより「ライブラリープラス」(年6回発行)
- ・中高生向け本の情報紙「ほんバナ」(年4回発行)
- ・図書館まつり 取手図書館(5/19 2,116人) ふじしろ図書館(4/21 1,534人)
- ・特別展示「効き目ほんわか こころのお薬100冊 2019」(8/1～9/26)

自殺予防週間に合わせ、いのちやこころについて考えるための図書の展示や情報提供を実施した。(総貸出点数 882 冊)

また、夏休み明けの子どもの居場所作りのため、休館日である9月の第1・2月曜日を臨時開館した。

(2) 登録者数

(単位:人)

年齢別 登録者数	0～ 6歳	7～ 12歳	13～ 15歳	16～ 18歳	19～ 22歳	23～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60歳 ～	合計
R1	587	4,981	2,849	1,565	2,254	3,138	4,768	6,499	4,298	12,733	43,672
H30	631	4,674	2,369	1,848	2,518	3,514	5,529	6,944	4,393	13,598	46,018
H29	680	4,777	2,324	1,872	2,424	3,345	5,507	6,748	4,188	12,952	44,817
H28	706	2,524	1,800	1,908	2,180	3,233	5,481	6,578	3,960	12,352	40,722
H27	709	2,684	1,834	2,163	2,572	3,834	6,270	7,142	4,323	13,009	44,540

(3) 利用状況

- ・入館者数

館名	入館者数(単位:人)				
	R1	H30	H29	H28	H27
取手図書館	140,085	149,093	152,153	159,144	171,288
ふじしろ図書館	156,734	166,972	167,906	179,787	192,766
合計	296,819	316,065	320,059	338,931	364,054

- ・館別貸出者数

館名	貸出者数(単位:人)					
	R1	H30	H29	H28	H27	
取手図書館	61,607	65,682	67,132	78,628	83,757	
ふじしろ図書館	56,228	61,000	63,687	80,870	85,640	
戸頭公民館図書室	30,072	32,510	32,441	38,081	38,872	
小文間公民館図書室	324	208	225	295	272	
寺原公民館図書室	4,596	4,478	4,022	4,406	4,390	
永山公民館図書室	887	962	867	917	862	
ゆうあいプラザ図書室	2,549	2,784	2,627	3,310	3,138	
井野公民館	2,010	1,670	1,383	1,926	2,051	
取手駅前窓口	7,385	6,743	5,466	4,968	5,173	
山王公民館	133	98	104	98	99	
六郷公民館	271	333	401	466	625	
相馬南公民館	677	729	535	503	478	
学校配送	小学校	1,510	1,765	1,030	—	—
	中学校	423	468	291	—	—
合計	168,672	179,430	180,211	214,468	225,357	

・貸出冊数（個人貸出）

館名		貸出冊数(単位:冊)				
		R1	H30	H29	H28	H27
取手図書館		219,351	231,682	235,419	239,826	251,604
ふじしろ図書館		200,337	221,087	224,526	242,875	254,961
戸頭公民館図書室		90,975	98,324	98,180	103,153	104,196
小文間公民館図書室		691	459	479	528	565
寺原公民館図書室		10,533	9,976	8,704	8,727	8,894
永山公民館図書室		2,198	2,665	2,462	2,149	1,901
ゆうあいプラザ図書室		6,756	7,403	6,605	7,547	7,106
井野公民館		4,023	3,405	2,575	3,612	3,865
取手駅前窓口		14,536	13,282	10,914	8,711	9,508
山王公民館		293	159	178	146	136
六郷公民館		554	595	728	778	1,058
相馬南公民館		1,070	1,148	837	758	719
学校配送	小学校	6,385	8,828	3,288	—	—
	中学校	695	891	384	—	—
合計		558,397	599,904	595,279	618,810	644,513

※学校配送は、平成29年10月から開始

・予約(リクエスト)利用状況

予約(リクエスト)件数	予約件数(単位:件)				
	R1	H30	H29	H28	H27
	126,737	116,266	103,501	106,453	109,609

○ 効果

取手図書館開館40周年記念事業として、茨城大学「戦略的地域連携プロジェクト」である「民話と方言で取手再発見プロジェクト」を実施した。地域文化の次世代への伝承と共に、語り手ボランティアの育成を目的とし、テキストである昔話集の発行も行った。その他にも、ボランティアとの協働で、市民の読書活動や図書館利用促進を図った。

また、学校図書館との連携(ほんくる)は開始から3年目となり、児童・生徒の読書環境も整いつつある。その基盤を生かし、うちどく(家読)の普及・啓発を図り、子どもの読書への関心を高めることができた。

[担当：図書館] P. 431

2201 図書館資料購入に要する経費 33,906,066円(34,156,156円)

[その他 62,638円 一財 33,843,428円]

* 特財内訳

[諸収入：図書弁償金 28,162円]

[諸収入：広告掲載料 34,476円]

○ 目的

市民の幅広い図書館資料に対するニーズに応える。

○ 内容

既定の収集方針に基づき、図書館資料を整備し、市民の読書活動を支援できるよう努めた。

・令和元年度館別購入数

館名	図書		雑誌	
	購入冊数	購入金額	購入種類	購入金額
取手図書館	4,621	9,396,455	72誌	726,999
ふじしろ図書館	6,212	11,660,780	85誌	904,170
戸頭公民館図書室	2,536	4,819,076	26誌	297,727
計	13,369	25,876,311	141種類	1,928,896
館名	新聞		AV	
	購入種類	購入金額	購入件数	購入金額
取手図書館	12紙	391,101	32点	66,952
ふじしろ図書館	16紙	521,000	155点	965,578
戸頭公民館図書室	10紙	288,324	24点	91,998
計	17種類	1,200,425	211点	1,124,528

※新聞の購入種類は、同紙名の夕刊も1紙とし、合計欄は全館での紙名数を記載した
・館別蔵書数（各年度末日現在）

館名	図書(単位:冊)				
	R1	H30	H29	H28	H27
取手図書館	142,905	140,608	137,933	135,601	134,617
ふじしろ図書館	146,304	143,612	140,143	137,735	133,998
戸頭公民館図書室	52,761	53,877	57,850	56,546	56,236
小文間公民館図書室	2,391	2,376	2,401	2,365	2,338
寺原公民館図書室	4,511	4,489	4,129	4,518	4,760
永山公民館図書室	4,188	4,460	4,713	4,614	4,537
ゆうあいプラザ図書室	10,488	9,779	9,894	9,854	9,552
合計	363,548	359,201	357,063	351,233	346,038

館名	雑誌(単位:タイトル数)				
	R1	H30	H29	H28	H27
取手図書館	89	90	90	77	94
ふじしろ図書館	92	94	94	90	97
戸頭公民館図書室	27	29	30	30	32

館名	AV(単位:件)				
	R1	H30	H29	H28	H27
取手図書館	691	548	486	325	299
ふじしろ図書館	5,682	5,445	5,307	5,108	4,918
戸頭公民館図書室	143	115	88	78	61
合計	6,516	6,108	5,881	5,511	5,278

○ 効果

各館の特徴を活かしながら、利用者のニーズに合わせた蔵書構成を目指し、また、図書館まで足を運ぶことができない子どもや高齢者でも利用しやすい、地域の公民館

など読書施設の蔵書更新を図った。

5 社会教育費 4 文化財保護費

[担当：教育総務課] P. 431

2001 文化財保護に要する経費 520,573 円 (1,986,400 円)

[その他 730 円 一財 519,843 円]

* 特財内訳

[諸収入：市史・郷土史郵送料本人負担分 730 円]

○ 目的

文化財は市民共有の財産であり、地域の歴史の歩みを後世に永く伝える貴重な資料であるため、文化財保護法や県・市条例等により文化財保護が義務付けられている。市内の国・県・市指定文化財の保護・活用に努め、未指定の文化財についても調査を進める。

○ 内容

(1) 指定文化財補助金交付 437,000 円

指定文化財等補助金交付要綱に基づき、指定文化財の日常管理や修理・整備に対して補助金を交付した。

(単位：円)

指定	指定文化財の名称	日常管理 補助金	防災設備保守 点検補助金	その他
		定額	補助率 7/8	【 】は補助率
国	竜禅寺 三仏堂	10,000	75,000	
県	本多作左衛門重次墳墓 (本願寺)	10,000		
	大日山古墳(岡神社)	10,000		
	地藏ケヤキ(高源寺)	10,000		
	長禅寺 三世堂	10,000	31,000	
	東漸寺 山門・観音堂	10,000	38,000	【定額】 10,000 [文化財防火デー]
市	八坂神社 本殿・拝殿	10,000	52,000	
	白山神社 本殿	10,000	37,000	
	中妻貝塚(福永寺)	10,000		【1/2】 84,000 [維持管理(草刈り)]
	阿弥陀如来坐像 (金仙寺)	10,000		
	絹本金箔地刺繍积迦 涅槃図(信楽寺)	10,000		

(千円未満切り捨て)

(2) 文化財保護強調週間に伴う特別公開

11月1日から7日の文化財保護強調週間に合わせ、県・市指定文化財「旧取手宿本陣」において歴史講演会や本陣ガイドツアーを実施した。また、県指定文化財「長禅寺三世堂」の特別公開を実施した。

・本陣特別公開

開催日	内 容	来場者	備 考
11/2	歴史講演会	34 人	演題「人見家秘蔵写真について～遊撃隊・人見勝太郎（寧）が所蔵していた写真～」 講師 森重和雄氏（古写真研究家）
11/1～11/4	本陣ガイドツアー	108 人	実施回数 計 7 回（約 50 分） （11/2 午後除く各日午前・午後） ガイド 埋蔵文化財センター職員
特別公開中来場者計		142 人	

・長禅寺三世堂特別公開

公開日	内 容	来場者	備 考
11/2～11/4	内部特別公開	286 人	

○ 効果

文化財の保存・管理について、管理者の負担軽減を図るため補助金を交付するとともに、維持・修理を計画的に実施することができた。また、文化財の特別公開により、市民の文化財に対する理解と意識の高揚に寄与した。

【担当：教育総務課】 P. 433

2101 旧取手宿本陣管理運営に要する経費 24,286,028 円 (8,327,880 円)

[国・県 5,833,000 円 地方債 11,500,000 円

その他 360,000 円 一財 6,593,028 円]

* 特財内訳

[県補：指定文化財改修補助金 17,501,200 円×1/3≒5,833,000 円]

[市債：旧取手宿本陣整備事業債

(17,412,000 円－5,833,000 円) ×75%≒8,600,000 円]

[市債：減収補てん債 2,900,000 円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 168,000 円]

[諸収入：本陣駐車場使用料 192,000 円]

○ 目的

県・市指定文化財「旧取手宿本陣」の保存・管理を行い、一般公開することで文化財への愛着や関心を高める。

○ 内容

(1)一般公開

年度	公開日	日数	来場者	平均	内容
R1	週 3 日 (金・土・日) ※R1/12/16 から R2/3/31 まで保存修理工事のため休館	114 日	2,316 人	20.3 人	・修復工事のビデオを随時放送。 ・土間でパネル展を実施した。 ・小学校などの団体見学では、職員が説明を行った。
H30	週 3 日 (金・土・日)	162 日	6,095 人	37.6 人	同上

(2) 管理・運営経費

- ・一般公開に関する主な経費

内 訳	支 出 額
公開日受付業務委託料	1,373,975 円

- ・維持管理に関する主な経費

内 訳	支 出 額
史跡指定地・駐車場賃借料	3,384,502 円
日常管理委託料	497,040 円
庭園維持管理委託料	814,000 円
機械警備委託料	91,560 円
消防用設備保守点検委託料	173,310 円

(3) 主屋保存修理工事

経年劣化した主屋茅屋根について、県の補助事業として保存修理工事を実施した。

- ・主な修理箇所

修理箇所	修 理 内 容
主屋茅屋根西面	丸葺き(下地の竹から上を全葺き替え)
同 北面	表層葺き替え(水切りの杉皮から上を葺き替え)
同 東面	差し茅(茅の薄くなった部分に新しい茅を差し)
同南面入母屋部	差し茅

- ・経 費

内 訳	支 出 額
工事指導者謝礼	90,000 円
実施設計委託料	691,200 円
工事監理委託料	770,000 円
工事請負費	15,950,000 円
計	17,501,200 円

○ 効果

旧取手宿本陣の一般公開は、市民の歴史や文化財に対する関心を高めているとともに、見学者の約6割が市外からの訪問者となっている。また令和元年度は、県からの補助金を受け、主屋茅屋根の保存修理工事を実施し、文化財の保存に寄与することができた。

[担当：教育総務課] P.433

2301 埋蔵文化財センター管理運営に要する経費 6,494,416 円 (5,189,076 円)

[その他 1,122,000 円 一財 5,372,416 円]

* 特財内訳

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 1,122,000 円]

○ 目的

埋蔵文化財の調査・保存拠点であり、市内の郷土資料の唯一の展示活用場として、施設の維持管理を図る。

○ 内容

(1)埋蔵文化財センター改修工事実施設計 1,122,000 円

開館から20年が経過し、建物、設備等の経年劣化による不具合が発生しているため、機能の維持・回復のための改修工事を行う。令和元年度は、改修工事の実施設計を実施した。

【委託料】

- ・埋蔵文化財センター改修工事実施設計委託料 1,122,000 円

(2)施設維持・管理経費 5,372,416 円

【主な経費】

- ・エレベーター保守点検委託料 549,360 円
- ・清掃管理委託料 234,350 円
- ・機械警備委託料 156,960 円
- ・草刈業務委託料(管理地5か所) 1,491,782 円

○ 効果

施設の維持管理を適切に行い、資料の保存環境の充実と利用者の利便性を図った。また、施設の改修工事実施設計を行い、老朽化した施設の安全かつ適切な郷土資料保存活用環境の充足が図れる。

[担当：教育総務課] P.435

2401 埋蔵文化財調査・整理に要する経費 2,175,505 円 (1,422,628 円)

[その他 680,100 円 一財 1,495,405 円]

* 特財内訳

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 650,000 円]

[諸収入：郷土史売却代 30,100 円]

○ 目的

取手市埋蔵文化財取扱い要領に基づき土木工事や宅地開発等に伴う埋蔵文化財の確認調査や発掘調査に迅速に対応する。発掘調査によって貴重な埋蔵文化財を記録する。

○ 内容

(1)市内遺跡確認・緊急調査の概要

確認調査(試掘)や個人住宅の発掘調査を、市が実施した。

遺跡名・事由・面積	期 間	内 容
佃遺跡(寺田) 個人住宅	5/23～27	遺構、遺物なし
台宿二本松遺跡(台宿一丁目) 宅地造成	7/10～11	遺構、遺物なし
神明遺跡(上高井) 個人住宅	確認調査 8/20～29 本調査 9/10～10/4	縄文時代遺物包含層を確認 縄文土器、石器等
大山遺跡(寺田) 防火水槽解体	10/21	遺物、遺構なし
宿畑遺跡(稲) 太陽光発電所	10/21～28	遺構、遺物なし

下高井城跡(下高井) 個人住宅	10/30～31	遺構、遺物なし
後原遺跡(米ノ井) 共同住宅	11/7～13	遺構、遺物なし
西光寺前遺跡(野々井) 宅地造成	12/9～18	縄文時代遺物包含層を確認
下高井城跡(下高井) 個人住宅	12/10	遺構、遺物なし
陳屋原遺跡(野々井) 個人住宅	1/20～21	遺構、遺物なし
大日山古墳群(岡) 既存建物解体	1/16	遺構、遺物なし

【主な経費】

- ・市内遺跡確認調査発掘作業委託料 1,161,355 円
- ・機器使用料(バックホウ等使用料) 228,000 円

(2)市史追補版編さん事業 659,978 円

令和2年の市制施行50周年に刊行予定である『取手市史追補版』の編集や郷土資料の記録保存のため、文化庁の指針に合ったデジタルカメラ及びその周辺機器を購入した。

- ・調査機器購入費(デジタル一眼レフカメラ等購入費) 659,978 円

○ 効果

令和元年度は、縄文時代から中世までの10遺跡11件を調査し、市内の重要遺跡である神明遺跡からは、縄文時代晩期の縄文土器や石器などの貴重な資料が出土した。発掘調査により、重要な市内遺跡の記録保存を実施し、貴重な資料を得ることができた。

[担当：教育総務課] P.435

2501 埋蔵文化財センター活動に要する経費 803,855 円(739,247 円)

[一財 803,855 円]

○ 目的

文化財保護施設として、貴重な発掘出土品や歴史資料の収納、整理、研究を実施する。これらの成果を市民に紹介するため、企画展・講演会・講座を開催し、市民の歴史に対する関心を高めるとともに、文化財保護行政に関する理解を深める。

○ 内容

(1)年間来館者数

年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
来館者数	3,347 人	4,904 人	5,901 人

(2) 展示活動

展示名	期間	来館者数 (1日平均)	経費	内 容
第46回企画展「大正時代の取手－明治と昭和をつなぐ時代－」	R1/7/16 ～9/23 開館61日	1,274人 (20.9人)	印刷製本費 357,520円 (ポスター、 解説図録)	近代国家確立の明治時代を引継ぎ、激動の昭和時代へと橋渡しする重要な大正時代の取手の郷土資料を紹介し、郷土史への理解と関心を高めた。 歴史講座1(R1/8/20)参加者54人 歴史講座2(R1/9/1)参加者129人
開館20周年記念・第47回企画展「古墳から律令の時代へ－取手市の奈良・平安時代の遺跡－」	R2/2/18 ～4/9 開館45日 R2/3/31 まで37日	561人 (12.5人) R2/3/31 まで 489人 (13.2人)	印刷製本費 357,520円 (ポスター、 解説図録)	開館20周年を記念して、開館以来初めて市内の奈良・平安時代の遺跡だけをテーマに取り上げ、日頃触れることが少ない地元の古代の遺跡や生活について発掘資料から紹介した。 ※新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、以下の防止対策を行った。 記念講演会(R2/3/29)の中止 考古学講座2回(R2/3/21・4/11)の中止 4/10～4/26 企画展の中止(休館)

○ 効果

活動により、市民の郷土史、市内文化財への関心を高めるとともに、文化財保護行政に対する理解を深めることができた。

6 保健体育費 1 保健体育総務費

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 439

1001 スポーツ推進委員に要する経費 1,179,290円 (1,786,500円)

[一財 1,179,290円]

○ 目的

市民の体力づくりと地域スポーツ活動の振興及び生涯スポーツの振興を図る。

○ 内容

市民のスポーツ活動促進のための組織の育成や、各種大会への指導助言と協力に努めた。

スポーツ推進委員報酬 日額6,300円×延べ165人=1,039,500円

○ 効果

スポーツ推進委員の活動により、地域スポーツの振興が図られ、多くの市民の健康と体力づくりに寄与した。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 439

2001 スポーツ団体育成推進関係経費 9,253,000円 (9,241,000円)

[一財 9,253,000円]

○ 目的

スポーツ団体を育成・支援することにより、市民全体の体力向上とスポーツの普及振興を図る。

○ 内容

団体名	団体数	会員数	活動内容
体育協会	29部	5,192人	体協親睦会・講演会の開催、視察研修、各種講習会の開催、機関紙の発行、市主催行事への協力及び参加、競技別大会の企画運営、指導者の育成
スポーツ少年団	9連盟 33単位団	指導者 276人 団員 1,016人	青少年のスポーツ指導、競技別大会、教室の企画運営、認定員養成講習会、取手ブロック近隣市町村交流会、市主催行事への協力及び参加、各種講習・研修会への参加

○ 効果

体育協会は、自主事業の充実により市民全体の体力向上とスポーツの普及振興に寄与することができた。また、スポーツ少年団は、青少年のスポーツ指導はもちろんのこと、認定員養成講習会や取手ブロック交流会等を継続して実施することにより、スポーツを通して地域における青少年の健全育成を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 439

2002 社会体育振興関係経費 903,739円 (911,341円)

[一財 903,739円]

○ 目的

市民の健康・体力づくりとスポーツ振興を図る。

○ 内容

生涯スポーツを通じて、心身の健康を保持・増進できるよう、誰もが参加できる各種の大会や体験会を実施した。

事業名	参加人数	場所
第24回 小学生ドッジボール大会	89人	取手グリーンスポーツセンター
第16回 市民親睦ソフトボール大会	148人	取手緑地運動公園
第28回 ソフトバレーボール大会	198人	取手グリーンスポーツセンター
第20回 グラウンドゴルフ大会	138人	北浦川緑地
第48回 新春健康マラソン大会	1,758人	取手緑地運動公園
第27回 ふれあいウォーキング	100人	小貝川コース
第14回 市民ペタンク大会	111人	北浦川緑地

○ 効果

各種大会を通じて小学生から高齢者まで幅広くスポーツの楽しさを広めるとともに、市民相互の交流が深められ、参加者の健康増進に寄与することができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 441

2003 スポーツ振興奨励関係経費 2,724,000円 (2,226,000円)

[一財 2,724,000円]

○ 目的

スポーツ大会出場奨励金を交付することにより、市民スポーツの高揚並びに競技意欲の向上を図る。また、選手も上位大会を目指すことができ、ひいては日本代表や国体選手の育成に繋がることを目的とする。

○ 内容

関東大会以上の大会に出場した者に対し、奨励金を支給することにより出場選手の負担の軽減と優秀選手の育成を図った。

年度		関東大会	全国大会	国際大会
R1	団体	7件	7件	8件
	個人	7件	40件	1件
H30	団体	0件	10件	0件
	個人	12件	38件	5件

○ 効果

奨励金制度を活用することにより、選手の育成と市民におけるスポーツ振興及び団体の育成を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 441

2101 学校施設開放に要する経費 482,316円 (477,267円)

[一財 482,316円]

○ 目的

小中学校の学校体育施設を開放することにより、市民のスポーツ振興と健康増進を図る。

○ 内容

市民が行うスポーツ・レクリエーション、文化的活動を支援するため、学校体育施設の開放を実施した。

年度	利用団体数	登録人数	開放学校数
R1	265団体	6,029人	23校
H30	265団体	5,746人	23校

○ 効果

市民の健康、体力増進と学校体育施設の有効利用を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 441

2301 いきいき茨城ゆめ国体2019開催に要する経費 137,064,229円 (73,089,991円)

[国・県 57,783,665円 その他 41,789,907円 一財 37,490,657円]

* 特財内訳

[県補：国民体育大会補助金 57,783,665円]

[諸収入：茨城国体取手市実行委員会交付精算金 41,782,442円]

[諸収入：雇用保険料本人負担金 7,465円]

○ 目的

第74回国民体育大会として本市においては、正式競技として自転車(トラック・レース)とボウリング、公開競技として武術太極拳が実施される。またデモンストラーションスポーツとしてダンススポーツとエアロビックが行われる。第19回全国障害者スポーツ大会として、ボウリングと卓球バレーが行われ、全体で7競技が開催される。各競技の実施に向け必要な体制づくり及び準備を滞りなく行う。

○ 内容

第74回国民体育大会及び第19回全国障害者スポーツ大会の各競技が本市で開催されたことに誇りを持てるように関係団体との協働体制を築いた。さらには、全国から訪れる選手・役員をはじめ応援観戦の来場者を温かくお迎えし大会を成功に導いた。

なお、第19回全国障害者スポーツ大会は台風19号の影響を考慮し、大会史上初めて全競技が中止となったが、オープン競技の卓球バレーについては、会期前開催であったため、唯一開催することができた。

※来場者数

第74回国民体育大会（いきいき茨城ゆめ国体）

正式競技

（単位：人）

区分	選手監督	競技役員	競技補助員	競技会補助員	競技会係員	観戦者	その他	合計
自転車 (トラック・レース)	2,336	288	106	99	248	9,251	429	12,757
ボウリング	1,713	240	0	71	206	2,140	623	4,993
合計	4,049	528	106	170	454	11,391	1,052	17,750

公開競技・デモンストレーションスポーツ（単位：人）

区分	選手監督	大会関係者	観戦者	合計
武術太極拳	224	481	1,500	2,205
ダンススポーツ	884	164	300	1,348
エアロビック	873	65	200	1,138
合計	1,981	710	2,000	4,691

第19回全国障害者スポーツ大会（いきいき茨城ゆめ大会）

（単位：人）

区分	選手監督	競技役員	競技補助員	ボランティア	競技会係員	観戦者	視察報道 その他	合計
ボウリング (正式)	台風19号の影響により、競技中止となりました							
卓球バレー (オープン)	431	33	65	107	0	170	30	836
合計	431	33	65	107	0	170	30	836

総合案内所利用者数（JR 取手駅西口）

（単位：人）

日時	9/30	10/1	10/2	10/3	10/4	10/5	10/6	10/7	合計
9:00～ 17:00	180	113	196	174	135	140	259	219	1,416

全体人数

（単位：人）

区分	自転車 (トラック・レース)	ボウリング	武術太極拳	ダンススポーツ	エアロビック	ボウリング (知)	卓球バレー (身・知・精)	総合案内所	総合計
人数	12,757	4,993	2,205	1,348	1,138	中止	836	1,416	24,693

○ 効果

公開競技の武術太極拳を皮切りに、大会期間中は、効率的に開催運営を行い、取手市を訪れた多くの方々に「おもてなし」で取手市の魅力を全国に発信することができた。

6 保健体育費 2 体育施設費

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 443

2001 取手グリーンスポーツセンター管理運営に要する経費 195,805,727 円
(226,201,321 円)

[地方債 66,300,000 円 その他 4,840,000 円 一財 124,665,727 円]

* 特財内訳

[市債：グリーンスポーツセンター整備事業債 (71,140,000 円－4,800,000 円) × 75%
≒ 49,700,000 円]

[市債：減収補てん債 16,600,000 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 40,000 円]

[その他：スポーツ振興くじ助成金 4,800,000 円]

○ 目的

市民スポーツの拠点となるグリーンスポーツセンターを多くの方に利用してもらうため、適正な維持管理を行い、市民の健康増進とスポーツ団体相互の交流を深める。

○ 内容

平成 18 年度より、指定管理者による管理を実施している。

指定管理料 122,103,592 円

(1) 利用状況

(単位：人)

施設名	R1	H30	増減
室内プール	112,199	125,491	△13,292
遊水プール	12,752	16,570	△3,818
第一体育室	55,858	66,935	△11,077
第二体育室	10,294	10,847	△553
トレーニング室	60,951	66,571	△5,620
柔道場	13,775	14,572	△797
剣道場	6,526	6,900	△374
弓道場	10,039	11,676	△1,637
健康相談室	345	414	△69
スポーツ障害相談室	69	47	22
研修室	14,491	15,834	△1,343
会議室	556	832	△276
和室	1,539	1,574	△35
その他	14,718	15,854	△1,136
合計	314,112	354,117	△40,005

(2) 備品購入一覧

取手グリーンスポーツセンターバスケットボール用ゴール購入 19,872,000 円

取手グリーンスポーツセンター第 1 体育室電光掲示板購入 19,850,400 円

取手グリーンスポーツセンター室内プール計時システム購入 19,861,200 円

取手グリーンスポーツセンター室内プールスコアボード購入 11,556,000円

○ 効果

茨城国体の開催にむけて、トイレの改修工事や電気設備の改修を行い、利用者にとって安全で安心して利用でき、かつ快適な環境づくりができた。令和元年度においては、経年劣化が進んでいる各備品のリニューアルを行うことにより、各種大会等においてスムーズな運営を行えるようになった。

利用者の様々なニーズに応えることにより、市民のスポーツ振興の拠点として、健康増進に寄与することができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 443

2201 藤代スポーツセンター管理運営に要する経費 49,028,547円 (45,063,667円)

[その他 16,178,510円 一財 32,850,037円]

* 特財内訳

[使用料：藤代スポーツセンター使用料 8,306,420円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 7,779,000円]

[諸収入：コピー手数料 2,150円]

[諸収入：印刷機使用料 9,400円]

[諸収入：市有物件災害共済金 81,540円]

○ 目的

生涯スポーツ・健康づくりの施設として、また、憩いの場としての公園施設の維持・管理を行うことで、市民が快適な施設でスポーツを楽しむ場の提供を図る。

○ 内容

(1) 利用状況

施設名	R1	H30	増減
アリーナ	29,957人	34,895人	△4,938人
レクリエーション室	3,892人	4,808人	△916人
多目的グラウンド	8,547人	6,867人	1,680人
野球場	9,799人	9,905人	△106人
テニスコート	11,466人	11,084人	382人
広場計（ピクニック広場、クレア広場）	4,002人	4,388人	△386人
会議室	459人	668人	△209人
合計	68,122人	72,615人	△4,493人

(2) 工事一覧

項目	契約金額	契約期間	内容
体育館給水ポンプ改修工事	6,253,200円	R1/6/14～ R1/9/13	新規給水ポンプ設備設置 既設給水ポンプ設備撤去処分
屋外流し台改修工事	1,285,200円	R1/6/1～ R1/6/28	新規ステンレス製流し台設置 既設給水製流し台撤去処分
キュービクル塗装修繕工事	162,000円	R1/5/29～ R1/7/31	キュービクルの本体塗裝修繕
多目的グラウンド散水栓修繕工事	399,600円	R1/5/29～ R1/7/31	新規散水栓設置(2箇所) 既設散水栓撤去処分

○ 効果

施設の環境美化保全に努めながら、円滑な管理運営を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 447

2301 藤代武道場管理運営に要する経費 18,971,810 円 (5,485,012 円)

[地方債 14,100,000 円 その他 1,570,520 円 一財 3,301,290 円]

* 特財内訳

[市債：体育施設整備事業債 14,126,400 円×75%≒10,500,000 円]

[市債：減収補てん債 3,600,000 円]

[使用料：藤代武道場使用料 1,545,520 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 25,000 円]

○ 目的

生涯スポーツ・健康づくりの施設として、武道場(柔道場・剣道場・弓道場)の維持・管理を行うことで、市民が快適な施設でスポーツを楽しむ場の提供を図る。

○ 内容

(1)利用状況

施設名	R1	H30	増減
柔道場	7,388 人	8,879 人	△1,491 人
剣道場	8,618 人	10,011 人	△1,393 人
弓道場	706 人	772 人	△66 人
師範室	2,601 人	1,999 人	602 人
合計	19,313 人	21,661 人	△2,348 人

(2)工事一覧

項目	契約金額	契約期間	内容
藤代武道場トイレ改修工事	14,126,400 円	R1/6/12～ R1/9/12	新規設備設置 ・男子トイレ：洋式便器 2 台、小便器 3 台 ・女子トイレ：洋式便器 3 台 ・多目的トイレ 既存設備撤去処分 ・男子トイレ：和式便器 2 台、小便器 3 台 ・女子トイレ：和式便器 3 台 ・障害者トイレ

○ 効果

施設の環境美化保全に努めながら、円滑な管理運営を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 447

2401 社会体育施設管理に要する経費 1,965,796 円 (1,945,234 円)

[その他 306,170 円 一財 1,659,626 円]

* 特財内訳

[使用料：高須体育館使用料 306,170 円]

○ 目的

生涯スポーツ・健康づくりの施設として、施設の維持管理を行うことで、市民が快適な施設でスポーツを楽しむ場の提供を図る。

○ 内容

利用状況

施設名	R1	H30	増減
高須体育館	8,038人	8,814人	△776人
高須グラウンド	519人	552人	△33人
合計	8,557人	9,366人	△809人

○ 効果

施設の環境美化保全に努めながら、円滑な管理運営を図ることができた。

6 保健体育費 3 学校給食センター費

[担当：学務給食課] P. 449

2001 給食センター運営に要する経費 124,290,444円 (136,735,349円)

[その他 108,502,335円 一財 15,788,109円]

* 特財内訳

[諸収入：幼稚園給食代 1,482,941円]

[諸収入：小学校給食代センター分 68,682,422円]

[諸収入：中学校給食代センター分 38,336,972円]

○ 目的

安全でおいしく、栄養バランスのとれた学校給食を提供する。

○ 内容

主に、子どもたちに安全な食材による給食を提供するための経費である。

賄材料費 112,873,625円

○ 効果

安全で栄養バランスに配慮した給食の提供ができた。

[担当：学務給食課] P. 451

2101 給食センター施設整備に要する経費 62,384,293円 (84,013,709円)

[地方債 21,300,000円 その他 1,383,000円 一財 39,701,293円]

* 特財内訳

[市債：給食センター施設整備事業 21,383,000円×75%≒16,000,000円]

[市債：減収補てん債 5,300,000円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 83,000円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 1,200,000円]

[諸収入：学校給食用冷凍庫保管設備助成金 100,000円]

○ 目的

給食センターの施設管理等の充実を図る。

○ 内容

主な経費

(1) 需用費 (単位:円)

項 目	内 容	金 額
光熱水費	都市ガス代、水道料、電気料	11,404,380
修繕料	調理機器及び施設修繕料	4,407,290

(2) 委託料 (単位:円)

項 目	内 容	金 額
給食運搬業務委託料	各学校への給食配送業務	16,848,600
真空冷却機点検委託料	真空冷却機の点検	319,000
ガス空調機保守点検委託料	ガス空調機保守点検	518,400
汚水・排水処理施設清掃点検委託料	汚水・排水処理施設保守点検及び清掃	2,289,000
ボイラー設備総合管理委託料	ボイラー保守点検及び運転管理	1,640,000
調理場内空調機改修工事実施設計業務委託	調理場内空調機改修工事の実施設計	1,133,000
生ごみ収集運搬・リサイクル処理業務委託	給食の生ごみ収集から堆肥へ	936,241

(3) 工事請負費 (単位:円)

項 目	内 容	金 額
洗浄機改修工事	老朽化した洗浄機の改修	20,250,000

(4) 備品購入費 (単位:円)

項 目	内 容	金 額
調理機器等の購入	冷凍庫、水切り台、作業台	1,475,064

○ 効果

給食センターの施設整備・衛生管理等の充実を図ることができた。